

アセットマネジメント One

# ファンド評価レポート

2025年3月

Asset Management One Fund Review Report



投資の力で未来をはぐくむ

# 目次

■	ファンド評価を通じてアセットマネジメントOneが目指していること	1
■	ファンド評価の目的	2
■	ファンドの品質改善に向けた取り組み	3
■	ファンド評価の結果総括	4
■	ファンド評価の方法	5
■	ファンド評価の実施・改善に係る体制	6
■	ファンド評価結果 対象ファンド一覧	7～16
■	ファンド評価結果 個別ファンド評価(レッド評価)	17～34
■	ファンド評価結果 個別ファンド評価(グリーン評価)	35～45
■	用語集	46
■	ご留意事項等	47



## ファンド評価を通じてアセットマネジメントOneが目指していること

### 投資家のみなさまの資産運用に貢献することを目指して

私たちアセットマネジメントOneは、「投資の力で未来をはぐくむ」というコーポレートメッセージのもと、資産運用のプロフェッショナルとしてより良い公募投資信託(ファンド)をご提供し、投資家のみなさまの資産運用に貢献することを目指しています。

当社は良質なファンドを投資家のみなさまにご提供するために、ファンドの品質を多角的かつ継続的に評価・検証いたします。そして、ファンド評価の結果、課題が見つかったファンドにつきましては改善策を立案・実行して品質の改善・向上を図ってまいります。

また、運用実績が上位であったファンドと改善事項があるファンドにつきましては、「ファンド評価レポート」を通じて、それらの内容を投資家のみなさまに定期的にお知らせいたします。

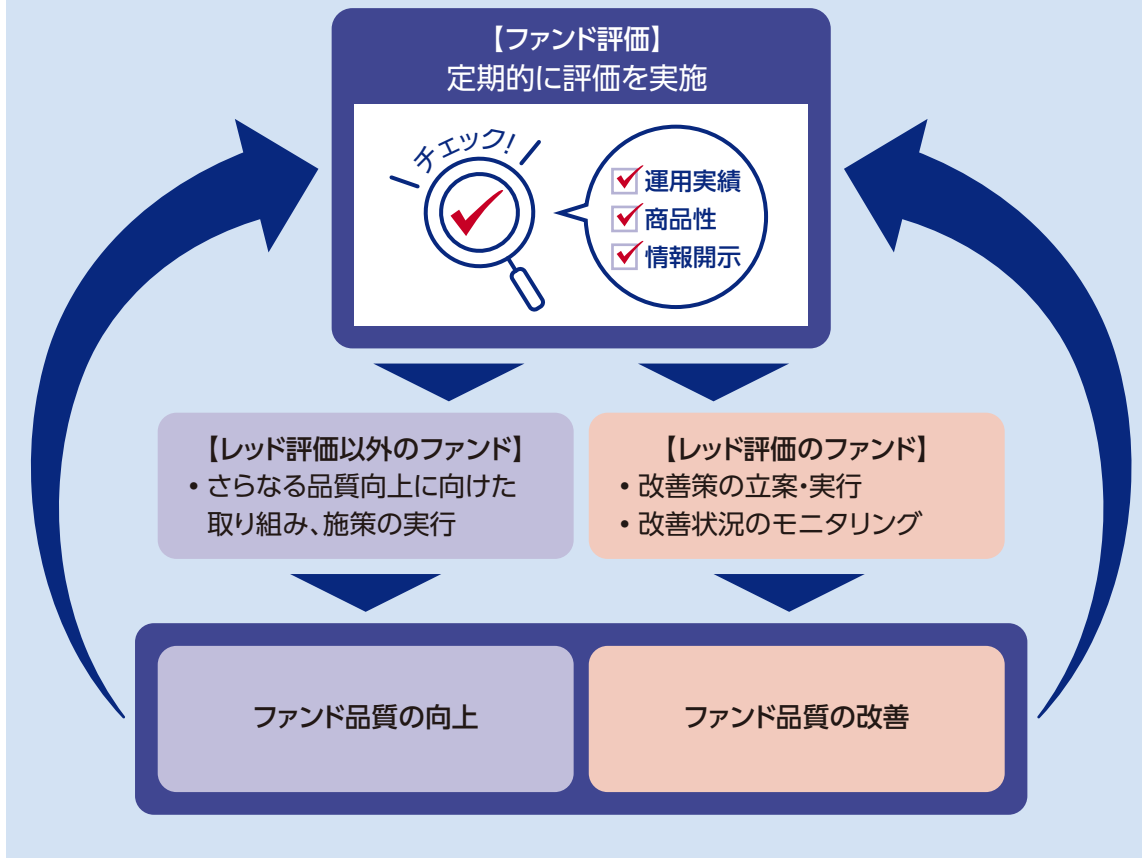
お客さまの大切な資産を受託する運用会社の立場から、フィデューシャリー・デューティーを全うしていくために、当社はこの取組みを今後も徹底してまいります。

アセットマネジメントOne株式会社  
取締役社長 杉原 規之

## ファンド評価の目的

- アセットマネジメントOneは、公募投資信託(ファンド)品質の改善・向上を図ることを目的として定期的に「ファンド評価」を実施します。運用実績が上位のファンドについてはさらなる向上を、課題が見つかったファンドについては改善策を立案・実行して品質改善を図ります。
- ファンド評価は、「運用実績」「商品性」「情報開示」の3つの項目で行います。
- ファンド評価の結果は、「アセットマネジメントOne ファンド評価レポート」として定期的に公表し、ファンド品質の改善・向上に向けた取り組みをお知らせします。

### ファンド品質を改善・向上させる取り組み



### ファンド評価レポートの公表

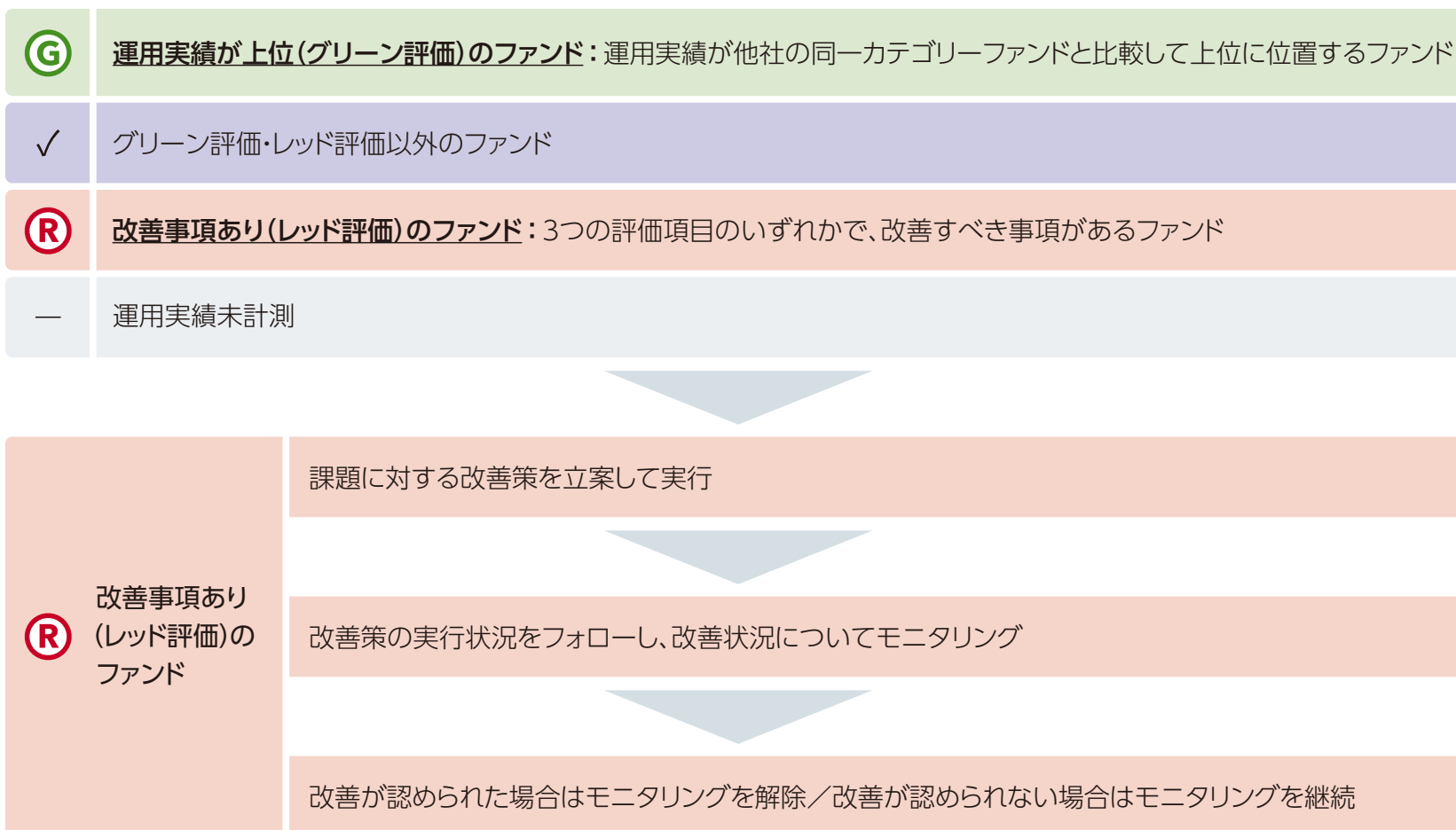
- 当社の「ファンド評価」が客観性や透明性に留意した取り組みであることをお知らせするため、ファンド評価レポートにおいて目的や考え方を示します。
- レポートでは、改善事項があるレッド評価のファンドと、運用実績が上位に位置するグリーン評価のファンドを開示します。レッド評価のファンドは、改善策の立案と取り組み状況、取り組み結果(改善状況)をお知らせします。

ファンド評価  
に対する  
レポート公表



## ファンドの品質改善に向けた取り組み

- ファンドの評価項目である「運用実績」「商品性」「情報開示」について、1つでも「改善事項あり」と判断した場合は「レッド評価」として、改善策を立案・実行して改善状況をモニタリングします。
- 各課題に対して改善が認められた場合はモニタリング対象から解除する一方、改善が認められない場合は改善策を再度立案・実行してモニタリングを継続し、改善に取り組めます。





## ファンド評価の結果総括

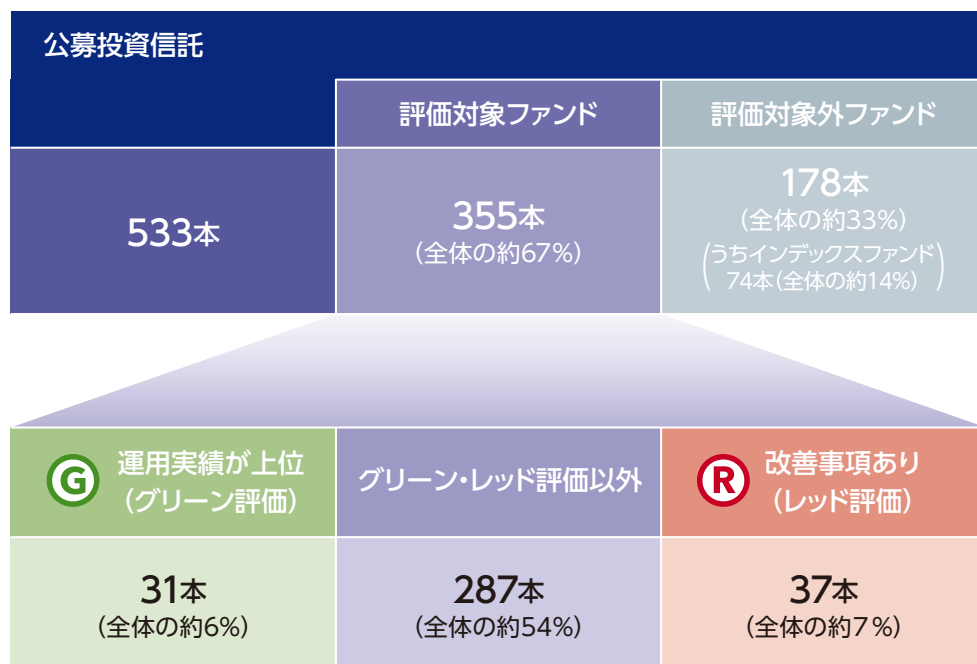
- 2024年9月末時点で当社が運用を行っている公募投資信託533本のうち、以下のファンドを除外した355本(全体の約67%)がファンド評価の対象です。

<主な対象外ファンド>

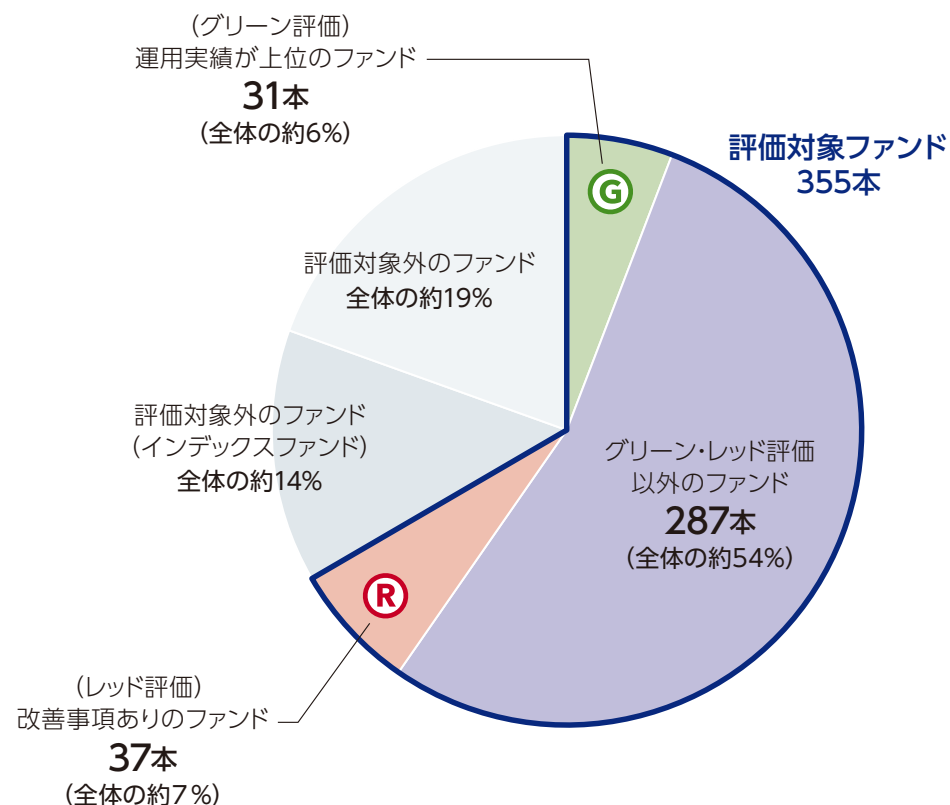
インデックスファンド\*、追加型公社債投信(MRF、公社債投信各月号)、マネープール型ファンド、償還期限が近いファンド、設定後間もないファンド、ブルベア型ファンド 等

\*インデックスファンドについては次回レポートから評価結果を開示する予定です。

- 評価対象ファンドの355本のうち、**運用実績が上位のグリーン評価ファンドは31本(全体の約6%)**、グリーン評価・レッド評価以外のファンドは287本(全体の約54%)、**改善事項ありと評価したレッド評価ファンドは37本(全体の約7%)**という結果となりました。



※グリーン評価とレッド評価では評価項目および評価基準が異なります。前後のページもご参照ください。



# ファンド評価の方法

● ファンドの評価項目(チェック項目)である、「運用実績」「商品性」「情報開示」の評価方法、着目点は以下の通りです。

※今回実施している「ファンド評価」に関する評価項目は、2024年9月末基準から導入したものです。

※ファンドの評価項目、評価内容は今後変更する場合があります。

## ファンド評価におけるチェックポイント

### 1.運用実績チェック

提供価値のある  
運用実績の実現



#### 運用実績データをもとに評価

- お客さまに提供価値のある運用実績(費用控除後)を実現できているかをチェックします。
- 同一カテゴリー\*1に分類されるファンドの2021年9月末～2024年9月末(3年)、2019年9月末～2024年9月末(5年)の運用実績\*2の相対順位と、ベンチマーク・参考指数との運用実績比較を評価基準とします。

#### 評価結果

上位	中位	下位
----	----	----

### 2.商品性チェック

長期的な資産形成に  
資する商品の提供



#### 3つの評価項目を総合的に評価

- お客さまにとって中・長期的な資産形成に資するファンドであるかを、「品質」「費用」「資金動向」の観点でチェックを行います。
- 各項目におけるチェックポイントは以下の通りです。

品質

運用方針の一貫性や商品の継続性(経済や金融市場の環境変化に伴い品質を維持できるか)

費用

同一カテゴリー\*1に分類されるファンドの総経費率との相対的な比較

資金動向

ファンドの資金流入出や平均保有年数\*3の状況からみた中・長期的な運用の継続性

### 3.情報開示チェック

お客さまにとって  
分かりやすい  
レポートの開示



#### 情報開示状況を総合的に評価

- お客さまがファンドの運用状況等を適切に把握できるかどうかをチェックします。
- 目論見書、運用報告書、月次レポートにおいて「必要情報の開示」ができているかを確認します。

必要情報の開示

ファンド特性に沿った情報提供、市場動向や運用方針に関する情報開示、ベンチマーク・参考指数との比較

※1 ファンドの商品性や運用戦略をもとに、同じ分類とみなされるファンドについては「同一カテゴリー」としてしています。こちらは外部評価機関であるMorningstar社が提供するモーニングスター・カテゴリー(MSカテゴリー)を参考にしています。

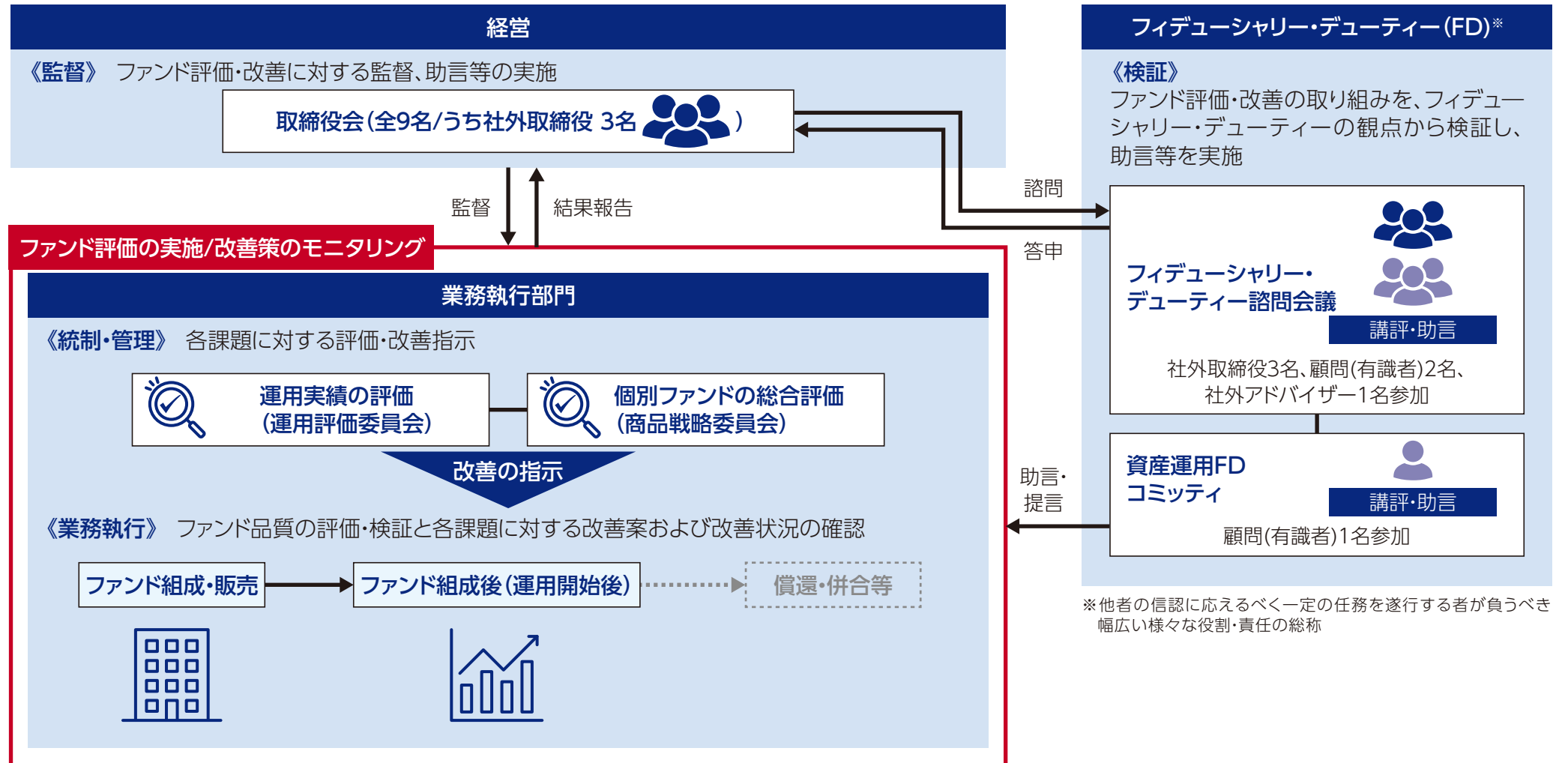
※2 運用実績が5年以上のファンドは3年・5年の実績をもって、5年未満のファンドは3年のみの実績で評価しています。

※3 平均保有年数=年間平均残高÷年間解約額で計算します。

※上記評価にあたり、モーニングスター・ダイレクトを使用しています。

# ファンド評価の実施・改善に係る体制

- 業務執行部門によるファンド評価とファンド品質管理を徹底することによって、自律的かつ組織的にファンド品質の改善・向上に取り組みます。
- ファンド評価・改善の取り組みに、経営の関与やフィデューシャリー・デューティの視点を加味することで、ファンド評価およびファンド品質管理の実効性向上を図ります。



※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。



# ファンド評価結果\_株式

2024/9/30時点

チェック項目	実績	運用実績	商品	商品性	開示	情報開示	ファンド評価結果	<span style="color: green;">G</span> 運用実績上位(グリーン評価) <span style="color: red;">R</span> 改善事項あり(レッド評価)                     ✓ グリーン・レッド評価以外                     — 運用実績未計測										
ファンド名/HPリンク							純資産総額	実績	商品	開示	ファンド名/HPリンク				純資産総額	実績	商品	開示
<b>株式/国内</b>																		
1	<a href="#">AR国内バリュー株式ファンド</a>	愛称:サムライバリュー	18億円	✓	✓	✓		20	<a href="#">One国内株オープン</a>	愛称:自由演技	840億円	✓	✓	✓				
2	<a href="#">AR国内バリュー株式ファンド(ファンドラップ)</a>		7億円	✓	✓	✓		21	<a href="#">One国内株オープン(年2回決算型)</a>	愛称:自由演技(年2回)	21億円	✓	✓	✓				
3	<a href="#">DIAMジャパン・セレクション&lt;DC年金&gt;</a>		40億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓		22	<a href="#">One国内株式ESGフォーカスファンド&lt;DC年金&gt;</a>		2億円	—	✓	✓				
4	<a href="#">DIAM新興企業日本株オープン</a>	米ドル型	73億円	✓	✓	✓		23	<a href="#">One日本の成長力α&lt;DC年金&gt;</a>		16億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓				
5	<a href="#">DIAM新興企業日本株ファンド</a>		103億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓		24	<a href="#">One割安日本株ファンド</a>		254億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓				
6	<a href="#">DIAM新興市場日本株ファンド</a>		104億円	✓	✓	✓		25	<a href="#">One割安日本株ファンド(年1回決算型)</a>		113億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓				
7	<a href="#">DIAM成長株オープン</a>	愛称:出世株	47億円	✓	✓	<span style="color: red;">R</span>		26	<a href="#">おおさか・かんさいアクティブファンド</a>	愛称:ニコ(25)っとおおさか	7億円	—	✓	✓				
8	<a href="#">DIAM日本株式オープン&lt;DC年金&gt;</a>	愛称:技あり一本<DC年金>	218億円	✓	✓	✓		27	<a href="#">海外消費関連日本株ファンド</a>	愛称:クール・ジャパン	53億円	✓	✓	✓				
9	<a href="#">DIAM日本経済成長戦略ファンド</a>	愛称:ニッポンのおもてなし	10億円	✓	✓	✓		28	<a href="#">企業価値成長小型株ファンド</a>	愛称:眼力	372億円	✓	✓	✓				
10	<a href="#">DL日本株式オープン</a>	愛称:技あり一本 るいとう	12億円	✓	✓	<span style="color: red;">R</span>		29	<a href="#">きらぼし・みらい応援株式ファンド</a>	愛称:きらぼしみらい	13億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓				
11	<a href="#">IBJITMジャパン・セレクション</a>		55億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓		30	<a href="#">厳選ジャパン</a>		42億円	✓	✓	✓				
12	<a href="#">MHAMキャピタル・グロース・オープン</a>	愛称:ザ・ベスト・マネジャー	23億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓		31	<a href="#">構造改革ジャパン</a>		2億円	—	✓	✓				
13	<a href="#">MHAMジャパンオープン</a>		25億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓		32	<a href="#">国内株式アクティブファンドセレクション(ラップ専用)</a>		24億円	✓	✓	✓				
14	<a href="#">MHAM新興成長株オープン</a>	愛称:J-フロンティア	371億円	✓	✓	✓		33	<a href="#">ジャパンニューエイジオープン</a>		36億円	✓	✓	✓				
15	<a href="#">MHAM日本株式&lt;DC年金&gt;</a>		28億円	✓	✓	✓		34	<a href="#">新興企業日本株ファンド(資産成長型)</a>		17億円	✓	✓	✓				
16	<a href="#">MHAM日本成長株オープン</a>		106億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓		35	<a href="#">新光小型株オープン</a>	愛称:波物語	27億円	✓	✓	✓				
17	<a href="#">MHAM日本成長株ファンド&lt;DC年金&gt;</a>		275億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓		36	<a href="#">新光ジャパンオープンII</a>		25億円	✓	✓	✓				
18	<a href="#">MHAM日本バリュー株オープン&lt;DC年金&gt;</a>	愛称:Vオープン<DC年金>	219億円	✓	✓	✓		37	<a href="#">新光日本インカム株式ファンド(3ヵ月決算型)</a>		804億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓				
19	<a href="#">One高配当利回り厳選ジャパン</a>		81億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	<span style="color: red;">R</span>		38	<a href="#">新光日本小型株ファンド</a>	愛称:風物語	162億円	✓	✓	✓				
								39	<a href="#">日本株オープン</a>	新潮流	45億円	✓	✓	✓				

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# ファンド評価結果\_株式

2024/9/30時点

チェック項目	実績	運用実績	商品	商品性	開示	情報開示	ファンド評価結果	<span style="color: green;">G</span> 運用実績上位(グリーン評価) <span style="color: red;">R</span> 改善事項あり(レッド評価)                 ✓ グリーン・レッド評価以外                 — 運用実績未計測																																																																																																																				
ファンド名/HPリンク							純資産総額	実績	商品	開示	ファンド名/HPリンク							純資産総額	実績	商品	開示																																																																																																							
40	<a href="#">日本厳選中小型株ファンド</a>						113億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓	59	<a href="#">MHAM米国好配当株式ファンド(年1回決算型)為替ヘッジなし</a> 愛称:ゴールデンルーキー	58億円	✓	✓	✓	60	<a href="#">MHAM米国好配当株式ファンド(毎月決算型)為替ヘッジあり</a> 愛称:ゴールデンルーキー	11億円	✓	✓	✓	61	<a href="#">MHAM米国好配当株式ファンド(毎月決算型)為替ヘッジなし</a> 愛称:ゴールデンルーキー	146億円	✓	✓	✓	62	<a href="#">Oneピュア・インド株式ファンド</a>	2,631億円	✓	✓	✓	63	<a href="#">サザンアジア・オールスター株式ファンド</a>	46億円	✓	✓	✓	64	<a href="#">ジャナス米国中小型成長株ファンド(年4回決算型)</a> 愛称:ネクストドリーム	20億円	✓	✓	✓	65	<a href="#">新光サザンアジア株式ファンド</a>	20億円	✓	✓	✓	66	<a href="#">新成長中国株式ファンド</a> 愛称:シャングリラ	20億円	✓	✓	✓	67	<a href="#">フィッシャーUSマイクロ株式ファンド</a>	154億円	✓	✓	✓	68	<a href="#">米国インフラ関連株式ファンド&lt;為替ヘッジあり&gt;</a> 愛称:グレート・アメリカ<為替ヘッジあり>	21億円	✓	✓	✓	69	<a href="#">米国インフラ関連株式ファンド&lt;為替ヘッジなし&gt;</a> 愛称:グレート・アメリカ<為替ヘッジなし>	152億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓	70	<a href="#">米国厳選成長株集中投資ファンド Aコース(為替ヘッジあり)</a> 愛称:新世紀アメリカ~Yes, We Can!~	2億円	✓	✓	✓	71	<a href="#">米国厳選成長株集中投資ファンド Bコース(為替ヘッジなし)</a> 愛称:新世紀アメリカ~Yes, We Can!~	65億円	✓	✓	✓	72	<a href="#">米国小型バリュー株ファンド Aコース(為替ヘッジあり)</a> 愛称:アメリカン・エンジェル	8億円	✓	✓	✓	73	<a href="#">米国小型バリュー株ファンド Bコース(為替ヘッジなし)</a> 愛称:アメリカン・エンジェル	209億円	✓	✓	✓	74	<a href="#">米国割安株ファンド</a> 愛称:ザ・バリューハンター	35億円	✓	✓	✓	75	<a href="#">マシューズ・アジア株式ファンド</a> 愛称:パシフィック・タイガー	27億円	✓	✓	✓	76	<a href="#">みずほエマージング株式オープン</a>	18億円	✓	✓	✓	77	<a href="#">みずほ好配当世界株オープン</a>	48億円	✓	✓	✓
41	<a href="#">ハイブリッド・セレクション</a> 愛称:変幻自在						208億円	✓	✓	✓	42	<a href="#">ビッグデータ活用 日本中小型株式ファンド</a> 愛称:B・D・F	19億円	✓	✓	✓	43	<a href="#">ファンド"メガ・テック"</a>	108億円	✓	✓	✓	44	<a href="#">ブランドエクイティ</a>	76億円	✓	✓	✓	45	<a href="#">マネックス・日本成長株ファンド</a> 愛称:ザ・ファンド@マネックス	32億円	✓	✓	✓	46	<a href="#">みずほ日本オールキャップ株式ファンド</a>	725億円	—	✓	✓	47	<a href="#">未来変革日本株ファンド</a> 愛称:挑戦者たち	140億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓																																																																														
<b>株式/海外</b>																																																																																																																												
48	<a href="#">AI(人工知能)活用型世界株ファンド</a> 愛称:ディープAI						349億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓	49	<a href="#">DIAM VIPフォーカス・ファンド</a> 愛称:アジア倶楽部	108億円	✓	✓	✓	50	<a href="#">DIAM外国株式オープン&lt;DC年金&gt;</a>	1,254億円	✓	✓	✓	51	<a href="#">DIAM厳選米国株式ファンド</a> 愛称:アメリカンセレクション	72億円	✓	✓	✓	52	<a href="#">DIAMジャナス米国中小型株式ファンド</a>	31億円	✓	✓	✓	53	<a href="#">DIAM世界好配当株オープン(毎月決算コース)</a> 愛称:世界配当倶楽部	142億円	✓	✓	✓	54	<a href="#">DIAM世界好配当株式ファンド(毎月決算型)</a> 愛称:ハッピーインカム	242億円	✓	✓	✓	55	<a href="#">DIAM世界好配当株式ファンド(毎月決算型)(為替ヘッジあり)</a> 愛称:ハッピーインカム(為替ヘッジあり)	1億円	✓	✓	✓	56	<a href="#">DIAM中国関連株オープン</a> 愛称:チャイニーズ・エンジェル	19億円	✓	✓	✓	57	<a href="#">DIAMベトナム株式ファンド</a> 愛称:ベトナムでフォー	111億円	✓	✓	✓	58	<a href="#">MHAM米国好配当株式ファンド(年1回決算型)為替ヘッジあり</a> 愛称:ゴールデンルーキー	7億円	✓	✓	✓																																																						

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# ファンド評価結果\_株式、債券

2024/9/30時点

チェック項目	実績	運用実績	商品	商品性	開示	情報開示	ファンド評価結果	<span style="color: green;">G</span> 運用実績上位(グリーン評価) <span style="color: red;">R</span> 改善事項あり(レッド評価)                 ✓ グリーン・レッド評価以外                 — 運用実績未計測													
ファンド名/HPリンク							純資産総額	実績	商品	開示	ファンド名/HPリンク							純資産総額	実績	商品	開示
<b>株式/内外</b>																					
78	<a href="#">MHAM株式オープン</a>						133億円	✓	✓	✓	97	<a href="#">新興国ハイクオリティ成長株式ファンド</a> 愛称:未来の世界(新興国)						773億円	✓	✓	✓
79	<a href="#">MHAMグローバル・アクティブ・オープン</a>						27億円	✓	✓	✓	98	<a href="#">世界eコマース関連株式オープン</a> 愛称:みらい生活						485億円	✓	✓	✓
80	<a href="#">OneグローバルESG厳選株ファンド&lt;DC年金&gt;</a>						52億円	✓	✓	✓	99	<a href="#">世界株配当収益追求ファンド(価格変動抑制型)</a> 愛称:はいとどうり						2億円	—	✓	✓
81	<a href="#">Oneグローバル中小型長期成長株ファンド</a> 愛称:キセキ						16億円	✓	✓	✓	100	<a href="#">世界中小型株式ファンド</a> 愛称:シャイニング・フューチャー						109億円	✓	✓	✓
82	<a href="#">Oneグローバル中小型長期成長株ファンド&lt;DC年金&gt;</a> 愛称:キセキ<DC年金>						24億円	✓	✓	✓	101	<a href="#">先進国ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジあり)</a> 愛称:未来の世界(先進国)						62億円	✓	✓	✓
83	<a href="#">One/フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド</a> (隔月決算・予想分配金提示型)						170億円	—	✓	✓	102	<a href="#">先進国ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)</a> 愛称:未来の世界(先進国)						921億円	✓	✓	✓
84	<a href="#">One/フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド</a> (成長型)						379億円	—	✓	✓	103	<a href="#">ファンドスミス・グローバル・エクイティ・ファンド</a>						3,291億円	—	✓	✓
85	<a href="#">グローバル新世代関連株式ファンド</a> 愛称:ミレニアルズ						111億円	✓	<span style="color: red;">R</span>	✓	104	<a href="#">フィッシャー・グローバル・スモールキャップ・エクイティ・ファンド</a> 愛称:ライジング・フューチャー						126億円	✓	✓	✓
86	<a href="#">グローバル・セキュリティ株式ファンド(3ヵ月決算型)</a>						558億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓	105	<a href="#">メディカル・サイエンス・ファンド</a> 愛称:医療の未来						470億円	✓	✓	✓
87	<a href="#">グローバル・セキュリティ株式ファンド(年1回決算型)</a>						16億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓	106	<a href="#">ワールド・インフラ好配当株式ファンド(成長型)</a> 愛称:世界のかけ橋(成長型)						29億円	✓	✓	✓
88	<a href="#">グローバルESGハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)</a> 愛称:未来の世界(ESG)						10,510億円	✓	✓	✓	107	<a href="#">ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)</a> 愛称:世界のかけ橋(毎月決算型)						133億円	✓	✓	✓
89	<a href="#">グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(為替ヘッジなし)</a> 愛称:未来の世界						7,113億円	✓	✓	✓	<b>債券/国内</b>										
90	<a href="#">グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(限定為替ヘッジ)</a> 愛称:未来の世界						628億円	✓	✓	✓	108	<a href="#">DLIBJ公社債オープン(短期コース)</a>						186億円	—	✓	✓
91	<a href="#">グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド</a> (年2回決算型)(為替ヘッジなし) 愛称:未来の世界(年2回決算型)						1,788億円	✓	✓	✓	109	<a href="#">DLIBJ公社債オープン(中期コース)</a>						342億円	✓	✓	✓
92	<a href="#">グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド</a> (年2回決算型)(限定為替ヘッジ) 愛称:未来の世界(年2回決算型)						105億円	✓	✓	✓	110	<a href="#">MHAM物価連動国債ファンド</a> 愛称:未来予想						300億円	—	✓	✓
93	<a href="#">グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(予想分配金提示型)</a> (為替ヘッジなし) 愛称:未来の世界(予想分配金提示型)						513億円	—	✓	✓	<b>債券/海外</b>										
94	<a href="#">グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド(予想分配金提示型)</a> (限定為替ヘッジ) 愛称:未来の世界(予想分配金提示型)						12億円	—	✓	✓	111	<a href="#">DIAMグローバル・ボンド・ポート</a> 毎月決算コース2 愛称:ぶんぱいくん						24億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓
95	<a href="#">シュローダー・サステナブル・世界株ファンド(為替ヘッジなし)</a> 愛称:ソーシャル・バリュー(為替ヘッジなし)						14億円	—	✓	✓	112	<a href="#">DIAM高格付インカム・オープン(1年決算コース)</a> 愛称:ハッピークローバー1年						9億円	✓	✓	✓
96	<a href="#">シュローダー・サステナブル・世界株ファンド(限定為替ヘッジ)</a> 愛称:ソーシャル・バリュー(限定為替ヘッジ)						2億円	—	✓	✓	113	<a href="#">DIAM高格付インカム・オープン&lt;DC年金&gt;</a> 愛称:ハッピークローバー<DC年金>						26億円	✓	✓	✓
										114	<a href="#">DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)</a> 愛称:ハッピークローバー						820億円	✓	✓	✓	

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# ファンド評価結果\_債券

2024/9/30時点

チェック項目	実績	運用実績	商品	商品性	開示	情報開示	ファンド評価結果	<span style="color: green;">Ⓞ</span> 運用実績上位(グリーン評価) <span style="color: red;">Ⓡ</span> 改善事項あり(レッド評価)                 ✓ グリーン・レッド評価以外                 — 運用実績未計測			
ファンド名/HPリンク	純資産総額	実績	商品	開示	ファンド名/HPリンク	純資産総額	実績	商品	開示		
115 <a href="#">DIAM高格付外債ファンド</a> 愛称:トリプルエース	38億円	—	✓	✓	135 <a href="#">フロンティア・ワールド・インカム・ファンド</a>	151億円	<span style="color: green;">Ⓞ</span>	✓	✓		
116 <a href="#">DIAM新興資源国債ファンド</a> 愛称:ラッキークローバー	32億円	—	✓	✓	136 <a href="#">フロンティア・ワールド・インカム・ファンド(年1回決算型)</a>	6億円	<span style="color: green;">Ⓞ</span>	✓	✓		
117 <a href="#">MHAM USインカムオープンAコース(為替ヘッジあり)</a>	6億円	✓	✓	✓	137 <a href="#">米国ハイイールド債券ファンド 円コース</a>	28億円	✓	✓	✓		
118 <a href="#">MHAM USインカムオープンBコース(為替ヘッジなし)</a>	14億円	<span style="color: green;">Ⓞ</span>	✓	✓	138 <a href="#">米国ハイイールド債券ファンド 豪ドルコース</a>	102億円	—	✓	✓		
119 <a href="#">MHAM USインカムオープン毎月決算コース(為替ヘッジなし)</a>	41億円	<span style="color: green;">Ⓞ</span>	✓	✓	139 <a href="#">米国ハイイールド債券ファンド ブラジルリアルコース</a>	65億円	—	✓	✓		
120 <a href="#">MHAM豪ドル債券ファンド(年1回決算型)</a>	1億円	✓	✓	✓	140 <a href="#">米国ハイイールド債券ファンド 米ドルコース</a>	93億円	✓	✓	✓		
121 <a href="#">MHAM豪ドル債券ファンド(毎月決算型)</a>	254億円	✓	✓	✓	141 <a href="#">米国ハイイールド債券ファンド 南アフリカランドコース</a>	2億円	—	✓	✓		
122 <a href="#">One日本企業米ドル建て債券ファンド2022-09</a> 愛称:ドルのめぐみ2022-09	7億円	—	✓	✓	142 <a href="#">みずほUSハイイールドオープンAコース(為替ヘッジあり)</a>	116億円	✓	✓	✓		
123 <a href="#">海外国債ファンド</a>	102億円	✓	✓	✓	143 <a href="#">みずほUSハイイールドオープンBコース(為替ヘッジなし)</a>	587億円	✓	✓	✓		
124 <a href="#">海外国債ファンド(3ヵ月決算型)</a>	17億円	✓	✓	✓	144 <a href="#">みずほUSハイイールドオープン(年1回決算型) 為替ヘッジあり</a>	23億円	✓	✓	✓		
125 <a href="#">グローバル・ボンド・ポート(Cコース)</a>	121億円	<span style="color: red;">Ⓡ</span>	✓	✓	145 <a href="#">みずほUSハイイールドオープン(年1回決算型) 為替ヘッジなし</a>	629億円	✓	✓	✓		
126 <a href="#">グローバル・ボンド・ポート(Dコース)</a>	131億円	<span style="color: red;">Ⓡ</span>	✓	✓	146 <a href="#">みずほUSハイイールドファンド&lt;DC年金&gt;</a>	94億円	✓	✓	✓		
127 <a href="#">グローバル・ボンド・ポート 毎月決算コース(為替ヘッジなし)</a>	33億円	<span style="color: red;">Ⓡ</span>	✓	✓	147 <a href="#">みずほ豪ドル債券ファンド 愛称:コアラの森</a>	394億円	✓	✓	✓		
128 <a href="#">高金利通貨ファンド</a>	28億円	—	✓	✓	148 <a href="#">みずほ豪ドル債券ファンド(年1回決算型) 愛称:コアラの森</a>	29億円	✓	✓	✓		
129 <a href="#">新光ブラジル債券ファンド</a>	120億円	✓	✓	✓	149 <a href="#">モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド(年1回決算型)(為替ヘッジあり)</a>	18億円	✓	✓	✓		
130 <a href="#">先進国投資適格債券ファンド(為替ヘッジあり) 愛称:マイワルツ</a>	262億円	✓	✓	✓	150 <a href="#">モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド(年1回決算型)(為替ヘッジなし)</a>	60億円	✓	✓	✓		
131 <a href="#">ハイブリッド証券ファンド円コース</a>	70億円	✓	✓	✓	151 <a href="#">モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド(毎月決算型)(為替ヘッジあり)</a>	16億円	✓	✓	✓		
132 <a href="#">ハイブリッド証券ファンド豪ドルコース</a>	10億円	✓	✓	✓	152 <a href="#">モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド(毎月決算型)(為替ヘッジなし)</a>	19億円	✓	✓	✓		
133 <a href="#">ハイブリッド証券ファンドブラジルリアルコース</a>	34億円	✓	✓	✓	153 <a href="#">ルーミス・グローバル債券ファンド(毎月決算型)</a>	14億円	✓	✓	✓		
134 <a href="#">ハイブリッド証券ファンド米ドルコース</a>	11億円	✓	✓	✓	154 <a href="#">ルーミス米国投資適格債券ファンド[年2回決算型]</a>	169億円	—	✓	✓		

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# ファンド評価結果\_債券、REIT

2024/9/30時点

チェック項目	実績	運用実績	商品	商品性	開示	情報開示	ファンド評価結果	<span style="color: green;">Ⓞ</span> 運用実績上位(グリーン評価) <span style="color: red;">Ⓡ</span> 改善事項あり(レッド評価) <span style="color: gray;">✓</span> グリーン・レッド評価以外 <span style="color: gray;">—</span> 運用実績未計測													
ファンド名/HPリンク							純資産総額	実績	商品	開示	ファンド名/HPリンク				純資産総額	実績	商品	開示			
155	<a href="#">ルーミス米国投資適格債券ファンド[毎月決算型]</a>	750億円	✓	✓	✓			174	<a href="#">Oneニッポン債券オープン</a>	60億円	✓	✓	✓	175	<a href="#">PIMCOストラテジック・インカム・ファンド(為替ヘッジあり)</a>	28億円	—	✓	✓		
<b>債券/内外</b>											<b>REIT/国内</b>										
156	<a href="#">DIAM円ストラテジー債券ファンド</a> 愛称:円クルーズ	5億円	✓	✓	✓			176	<a href="#">PIMCOストラテジック・インカム・ファンド(為替ヘッジなし)</a>	226億円	—	✓	✓	177	<a href="#">USストラテジック・インカム・ファンドAコース(為替ヘッジあり)</a> 愛称:債券王	11億円	✓	✓	✓		
157	<a href="#">DIAM-ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド&lt;DC年金&gt;</a>	1億円	✓	✓	✓			178	<a href="#">USストラテジック・インカム・ファンドBコース(為替ヘッジなし)</a> 愛称:債券王	82億円	<span style="color: green;">Ⓞ</span>	✓	✓	179	<a href="#">債券スマートインカム戦略&lt;リスク抑制型&gt;(ファンドラップ)</a>	8億円	✓	✓	✓		
158	<a href="#">DIAM毎月分配債券ファンド</a> 愛称:円パワーズ	7億円	✓	✓	✓			180	<a href="#">みずほグローバル・ターゲット利回り債券ファンド2022-06(限定追加型)</a>	248億円	—	✓	✓	181	<a href="#">みずほグローバル・ターゲット利回り債券ファンド2023-01(限定追加型)</a>	142億円	—	✓	✓		
159	<a href="#">One円建て債券ファンド2021-03</a> 愛称:円結び 2021-03	205億円	—	✓	✓																
160	<a href="#">One円建て債券ファンド2021-05</a> 愛称:円結び 2021-05	80億円	—	✓	✓																
161	<a href="#">One円建て債券ファンド2021-09</a> 愛称:円結び 2021-09	89億円	—	✓	✓																
162	<a href="#">One円建て債券ファンドII</a> 2021-12 愛称:円結びII 2021-12	73億円	—	✓	✓																
163	<a href="#">One円建て債券ファンドII</a> 2022-03 愛称:円結びII 2022-03	126億円	—	✓	✓			182	<a href="#">DIAM J-REITアクティブファンド(毎月決算型)</a> 愛称:ハッピー・オーナー	35億円	✓	✓	✓	183	<a href="#">DIAM J-REITオープン(1年決算コース)</a> 愛称:オーナーズ・インカム1Y	117億円	✓	✓	✓		
164	<a href="#">One円建て債券ファンドII</a> 2022-06 愛称:円結びII 2022-06	127億円	—	✓	✓			184	<a href="#">DIAM J-REITオープン(2カ月決算コース)</a> 愛称:オーナーズ・インカム2M	48億円	✓	✓	✓	185	<a href="#">DIAM J-REITオープン(毎月決算コース)</a> 愛称:オーナーズ・インカム	467億円	✓	✓	✓		
165	<a href="#">One円建て債券ファンドII</a> 2022-09 愛称:円結びII 2022-09	114億円	—	✓	✓			186	<a href="#">DIAMストラテジックJ-REITファンド</a>	216億円	✓	✓	✓	187	<a href="#">MHAM J-REITアクティブオープン年1回決算コース</a> 愛称:物件満彩(年1回決算コース)	30億円	✓	✓	✓		
166	<a href="#">One円建て債券ファンドII</a> 2023-01 愛称:円結びII 2023-01	79億円	—	✓	✓			188	<a href="#">MHAM J-REITアクティブオープン毎月決算コース</a> 愛称:物件満彩	134億円	<span style="color: red;">Ⓡ</span>	✓	✓	189	<a href="#">MHAM J-REITアクティブファンド&lt;DC年金&gt;</a>	25億円	✓	✓	✓		
167	<a href="#">One円建て債券ファンドIII</a> 2023-03 愛称:円結びIII 2023-03	129億円	—	✓	✓			190	<a href="#">MHAM Jリートアクティブファンド(隔月決算型)</a> 愛称:Jインカム(隔月決算型)	3億円	—	✓	✓	191	<a href="#">MHAM Jリートアクティブファンド(毎月決算型)</a> 愛称:Jインカム	129億円	<span style="color: red;">Ⓡ</span>	✓	✓		
168	<a href="#">One円建て債券ファンドIII</a> 2023-07 愛称:円結びIII 2023-07	120億円	—	✓	✓			192	<a href="#">通貨選択型Jリート・ファンド(毎月分配型) 円コース</a>	20億円	<span style="color: red;">Ⓡ</span>	✓	✓								
169	<a href="#">One円建て債券ファンドIII</a> 2023-09 愛称:円結びIII 2023-09	148億円	—	✓	✓																
170	<a href="#">One円建て債券ファンドIII</a> 2024-03 愛称:円結びIII 2024-03	70億円	—	✓	✓																
171	<a href="#">Oneグローバル・ターゲット利回り債券ファンド2023-06(限定追加型)</a>	260億円	—	✓	✓																
172	<a href="#">Oneグローバル・ターゲット利回り債券ファンド2023-12(限定追加型)</a>	198億円	—	✓	✓																
173	<a href="#">Oneグローバル・ターゲット利回り投資適格債券ファンド2023-12(限定追加型)</a> 愛称:イールドOne2023-12	140億円	—	✓	✓																

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



# ファンド評価結果\_REIT、バランス

2024/9/30時点

チェック項目	実績	運用実績	商品	商品性	開示	情報開示	ファンド評価結果	<span style="color: green;">G</span> 運用実績上位(グリーン評価) <span style="color: red;">R</span> 改善事項あり(レッド評価)                 ✓ グリーン・レッド評価以外                 — 運用実績未計測										
ファンド名/HPリンク							純資産総額	実績	商品	開示	ファンド名/HPリンク				純資産総額	実績	商品	開示
193	<a href="#">通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型) 豪ドルコース</a>	17億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓						<b>バランス/国内</b>							
194	<a href="#">通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型) ブラジルリアルコース</a>	68億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓						210	<a href="#">MHAMスリーウェイオープン</a>	66億円	✓	✓	✓		
195	<a href="#">通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型) 米ドルコース</a>	39億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓						211	<a href="#">日本3資産ファンド 安定コース 愛称:円のめぐみ</a>	27億円	—	✓	✓		
196	<a href="#">みずほ J-REIT ファンド</a>	288億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓						212	<a href="#">日本3資産ファンド 成長コース 愛称:円のめぐみ</a>	32億円	—	✓	✓		
197	<a href="#">みずほ J-REIT ファンド(年1回決算型)</a>	48億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓						213	<a href="#">日本3資産ファンド(年1回決算型) 愛称:円のめぐみ(年1回決算型)</a>	1億円	—	✓	✓		
198	<a href="#">りそなリート・アクティブ・オープン 愛称:日本のツボ</a>	522億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓						<b>バランス/海外</b>							
<b>REIT/海外</b>											214	<a href="#">DIAM世界3資産オープン(毎月決算型) 愛称:ハッピーハーモニー</a>	17億円	—	✓	✓		
199	<a href="#">DIAMオーストラリアリートオープン 愛称:A-REIT</a>	142億円	✓	✓	✓						215	<a href="#">DIAM世界インカム・オープン(毎月決算コース) 愛称:世界三重奏</a>	34億円	—	✓	✓		
200	<a href="#">DIAM ワールドREITアクティブファンド&lt;DC年金&gt; 愛称:世界のハッピー・オーナーDC</a>	15億円	✓	✓	✓						216	<a href="#">アジア3資産ファンド 資産形成コース 愛称:アジアンスイーツ</a>	11億円	—	✓	✓		
201	<a href="#">DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型) 愛称:世界のハッピーオーナー</a>	13億円	✓	✓	✓						217	<a href="#">アジア3資産ファンド 分配コース 愛称:アジアンスイーツ</a>	15億円	—	✓	✓		
202	<a href="#">DIAM ワールド・リート・インカム・オープン(毎月決算コース) 愛称:世界家主倶楽部</a>	560億円	✓	✓	✓						218	<a href="#">ゴールドマン・サックス社債/マクロアロケーター戦略ファンド 2022-09 愛称:おまもりOne2022-09</a>	999億円	—	✓	✓		
203	<a href="#">新光 US-REIT オープン 愛称:ゼウス</a>	4,144億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓						219	<a href="#">マクロアロケーター戦略指数参照型ゴールドマン・サックス社債ファンド 2022-12 愛称:おまもりOne2022-12</a>	115億円	—	✓	✓		
204	<a href="#">新光 US-REIT オープン(隔月決算型) 愛称:ゼウス(隔月決算型)</a>	2億円	—	✓	✓						220	<a href="#">マクロアロケーター戦略指数参照型ゴールドマン・サックス社債ファンド 2023-03 愛称:おまもりOne2023-03</a>	10億円	—	✓	✓		
205	<a href="#">新光 US-REIT オープン(年1回決算型) 愛称:ゼウスII(年1回決算型)</a>	142億円	✓	✓	✓						221	<a href="#">ワールドアセットバランス(基本コース) 愛称:ワールドOne</a>	50億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓		
<b>REIT/内外</b>											222	<a href="#">ワールドアセットバランス(リスク抑制コース) 愛称:ワールドOne</a>	147億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓		
206	<a href="#">みずほグローバル・セレクト・不動産戦略ファンド(年1回決算型)(為替ヘッジあり)</a>	3億円	—	✓	✓						<b>バランス/内外</b>							
207	<a href="#">みずほグローバル・セレクト・不動産戦略ファンド(年1回決算型)(為替ヘッジなし)</a>	63億円	—	✓	✓						223	<a href="#">4資産分散投資・スタンダード&lt;DC年金&gt; 愛称:わたしへの贈りもの</a>	139億円	—	✓	✓		
208	<a href="#">みずほグローバル・セレクト・不動産戦略ファンド(年4回決算型)(為替ヘッジあり)</a>	2億円	—	✓	✓						224	<a href="#">4資産分散投資・ハイクラス&lt;DC年金&gt; 愛称:わたしへの贈りもの</a>	166億円	—	✓	✓		
209	<a href="#">みずほグローバル・セレクト・不動産戦略ファンド(年4回決算型)(為替ヘッジなし)</a>	32億円	—	✓	✓						225	<a href="#">4資産分散投資・ミドルクラス&lt;DC年金&gt; 愛称:わたしへの贈りもの</a>	111億円	—	✓	✓		
											226	<a href="#">9資産分散投資・スタンダード&lt;DC年金&gt; 愛称:わたしへの贈りもの</a>	217億円	—	✓	✓		

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# ファンド評価結果\_バランス

2024/9/30時点

チェック項目	実績	運用実績	商品	商品性	開示	情報開示	ファンド評価結果	<span style="color: green;">Ⓞ</span> 運用実績上位(グリーン評価) <span style="color: red;">Ⓡ</span> 改善事項あり(レッド評価) <span style="color: gray;">✓</span> グリーン・レッド評価以外 <span style="color: gray;">—</span> 運用実績未計測													
ファンド名/HPリンク							純資産総額	実績	商品	開示	ファンド名/HPリンク							純資産総額	実績	商品	開示
227	<a href="#">DIAM 8資産バランスファンドN&lt;DC年金&gt;</a>	178億円	—	✓	✓			247	<a href="#">MHAMライフ ナビゲーション インカム</a>	5億円	—	✓	✓								
228	<a href="#">DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国10) 愛称:宝船</a>	124億円	—	✓	✓			248	<a href="#">Oneグローバル最適化バランス(安定型)&lt;ラップ向け&gt;</a>	2億円	—	✓	✓								
229	<a href="#">DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国20) 愛称:宝船</a>	103億円	—	✓	✓			249	<a href="#">Oneグローバル最適化バランス(成長型)&lt;ラップ向け&gt;</a>	8億円	—	✓	✓								
230	<a href="#">DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国30) 愛称:宝船</a>	137億円	—	✓	✓			250	<a href="#">Oneグローバルバランス</a>	14億円	✓	✓	✓								
231	<a href="#">DIAM DC バランス30インデックスファンド</a>	58億円	—	✓	✓			251	<a href="#">One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク2%) 愛称:THE GRIPS 2%</a>	0.2億円	✓	✓	✓								
232	<a href="#">DIAM DC バランス50インデックスファンド</a>	115億円	—	✓	✓			252	<a href="#">One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク2%)&lt;DC年金&gt; 愛称:THE GRIPS 2%&lt;DC年金&gt;</a>	3億円	✓	✓	✓								
233	<a href="#">DIAM DC バランス70インデックスファンド</a>	95億円	—	✓	✓			253	<a href="#">One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク4%) 愛称:THE GRIPS 4%</a>	4億円	Ⓡ	✓	✓								
234	<a href="#">DIAMパッシブ資産分散ファンド 愛称:三本の矢</a>	33億円	—	✓	✓			254	<a href="#">One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク4%)&lt;DC年金&gt; 愛称:THE GRIPS 4%&lt;DC年金&gt;</a>	6億円	Ⓡ	✓	✓								
235	<a href="#">DIAMバランス・ファンド&lt;DC年金&gt;1安定型</a>	228億円	—	✓	✓			255	<a href="#">One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク6%) 愛称:THE GRIPS 6%</a>	5億円	Ⓡ	✓	✓								
236	<a href="#">DIAMバランス・ファンド&lt;DC年金&gt;2安定・成長型</a>	521億円	—	✓	✓			256	<a href="#">One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク6%)&lt;DC年金&gt; 愛称:THE GRIPS 6%&lt;DC年金&gt;</a>	16億円	Ⓡ	✓	✓								
237	<a href="#">DIAMバランス・ファンド&lt;DC年金&gt;3成長型</a>	478億円	—	✓	✓			257	<a href="#">One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク8%) 愛称:THE GRIPS 8%</a>	22億円	Ⓡ	✓	✓								
238	<a href="#">DIAMライフサイクル・ファンド&lt;DC年金&gt;1安定型</a>	120億円	—	✓	✓			258	<a href="#">One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク8%)&lt;DC年金&gt; 愛称:THE GRIPS 8%&lt;DC年金&gt;</a>	20億円	Ⓡ	✓	✓								
239	<a href="#">DIAMライフサイクル・ファンド&lt;DC年金&gt;2安定・成長型</a>	367億円	—	✓	✓			259	<a href="#">One世界分散セレクト(Aコース) 愛称:100年ギフト</a>	22億円	✓	✓	✓								
240	<a href="#">DIAMライフサイクル・ファンド&lt;DC年金&gt;3成長型</a>	380億円	—	✓	✓			260	<a href="#">One世界分散セレクト(Bコース) 愛称:100年ギフト</a>	37億円	✓	✓	✓								
241	<a href="#">MHAM6資産バランスファンド 愛称:六花選</a>	39億円	—	✓	✓			261	<a href="#">One世界分散セレクト(Cコース) 愛称:100年ギフト</a>	52億円	✓	✓	✓								
242	<a href="#">MHAM6資産バランスファンド(年1回決算型) 愛称:六花選(年1回決算型)</a>	4億円	—	✓	✓			262	<a href="#">One ターゲットリターン・ファンド(4%コース)</a>	10億円	✓	Ⓡ	✓								
243	<a href="#">MHAMトリニティオープン(毎月決算型) 愛称:ファンド3兄弟</a>	65億円	—	✓	✓			263	<a href="#">インカムビルダー(年1回決算型)為替ヘッジなし</a>	35億円	Ⓞ	✓	✓								
244	<a href="#">MHAMライフ ナビゲーション 2030</a>	22億円	—	✓	✓			264	<a href="#">インカムビルダー(年1回決算型)限定為替ヘッジ</a>	2億円	✓	✓	✓								
245	<a href="#">MHAMライフ ナビゲーション 2040</a>	24億円	—	✓	✓			265	<a href="#">インカムビルダー(年1回決算型)世界通貨分散コース</a>	8億円	Ⓞ	✓	✓								
246	<a href="#">MHAMライフ ナビゲーション 2050</a>	6億円	—	✓	✓			266	<a href="#">インカムビルダー(毎月決算型)為替ヘッジなし</a>	33億円	Ⓞ	✓	✓								

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# ファンド評価結果\_バランス

2024/9/30時点

チェック項目	実績	運用実績	商品	商品性	開示	情報開示	ファンド評価結果	⑥運用実績上位(グリーン評価)	⑧改善事項あり(レッド評価)	✓グリーン・レッド評価以外	—運用実績未計測
ファンド名/HPリンク	純資産総額	実績	商品	開示	ファンド名/HPリンク	純資産総額	実績	商品	開示		
267 <a href="#">インカムビルダー(毎月決算型)限定為替ヘッジ</a>	2億円	✓	✓	✓	287 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2019-01</a> 愛称:プライムOne2019-01	56億円	—	✓	✓		
268 <a href="#">インカムビルダー(毎月決算型)世界通貨分散コース</a>	23億円	⑥	✓	✓	288 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2019-02</a> 愛称:プライムOne2019-02	78億円	—	✓	✓		
269 <a href="#">尾瀬紀行</a>	22億円	—	✓	✓	289 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2019-03</a> 愛称:プライムOne2019-03	76億円	—	✓	✓		
270 <a href="#">クルーズコントロール</a>	79億円	✓	✓	✓	290 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2019-04</a> 愛称:プライムOne2019-04	69億円	—	✓	✓		
271 <a href="#">グローバル・アロケーション・オープンAコース(年1回決算・為替ヘッジなし)</a>	142億円	⑥	✓	✓	291 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2019-05</a> 愛称:プライムOne2019-05	14億円	—	✓	✓		
272 <a href="#">グローバル・アロケーション・オープンBコース(年4回決算・為替ヘッジなし)</a>	575億円	⑥	✓	✓	292 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2019-06</a> 愛称:プライムOne2019-06	116億円	—	✓	✓		
273 <a href="#">グローバル・アロケーション・オープンCコース(年1回決算・限定為替ヘッジ)</a>	13億円	✓	✓	✓	293 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2019-07</a> 愛称:プライムOne2019-07	261億円	—	✓	✓		
274 <a href="#">グローバル・アロケーション・オープンDコース(年4回決算・限定為替ヘッジ)</a>	10億円	✓	✓	✓	294 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2019-09</a> 愛称:プライムOne2019-09	101億円	—	✓	✓		
275 <a href="#">グローバル・アロケーション・ファンド 毎月決算・為替ヘッジなしコース(目標払出し型) 愛称:世界街道</a>	202億円	⑥	✓	✓	295 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2019-10</a> 愛称:プライムOne2019-10	24億円	—	✓	✓		
276 <a href="#">グローバル・アロケーション・ファンド 毎月決算・限定為替ヘッジコース(目標払出し型) 愛称:世界街道</a>	6億円	✓	✓	✓	296 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2019-11</a> 愛称:プライムOne2019-11	66億円	—	✓	✓		
277 <a href="#">グローバルドライブ(3ヵ月決算型)為替ヘッジなし</a>	39億円	⑥	✓	✓	297 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2019-12</a> 愛称:プライムOne2019-12	130億円	—	✓	✓		
278 <a href="#">グローバルドライブ(3ヵ月決算型)限定為替ヘッジ</a>	2億円	✓	✓	✓	298 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2020-01</a> 愛称:プライムOne2020-01	20億円	—	✓	✓		
279 <a href="#">グローバルドライブ(年1回決算型)為替ヘッジなし</a>	22億円	⑥	✓	✓	299 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2020-03</a> 愛称:プライムOne2020-03	242億円	—	✓	✓		
280 <a href="#">グローバルドライブ(年1回決算型)限定為替ヘッジ</a>	2億円	✓	✓	✓	300 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2020-05</a> 愛称:プライムOne2020-05	60億円	—	✓	✓		
281 <a href="#">コア資産形成ファンド 愛称:ビギナーズ ラップ</a>	4億円	⑥	✓	✓	301 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2020-06</a> 愛称:プライムOne2020-06	40億円	—	✓	✓		
282 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2018-07</a>	160億円	—	✓	✓	302 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2020-07</a> 愛称:プライムOne2020-07	40億円	—	✓	✓		
283 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2018-09</a> 愛称:プライムOne2018-09	459億円	—	✓	✓	303 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2020-09</a> 愛称:プライムOne2020-09	79億円	—	✓	✓		
284 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2018-10</a> 愛称:プライムOne2018-10	82億円	—	✓	✓	304 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2020-10</a> 愛称:プライムOne2020-10	7億円	—	✓	✓		
285 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2018-11</a> 愛称:プライムOne2018-11	146億円	—	✓	✓	305 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2022-05</a> 愛称:プライムOne2022-05	5億円	—	✓	✓		
286 <a href="#">ゴールドマン・サックス社債/国際分散投資戦略ファンド2018-12</a> 愛称:プライムOne2018-12	100億円	—	✓	✓	306 <a href="#">新光7資産バランスファンド 愛称:七重奏</a>	46億円	✓	✓	✓		

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# ファンド評価結果\_バランス

2024/9/30時点

チェック項目	実績	運用実績	商品	商品性	開示	情報開示	ファンド評価結果	<span style="color: green;">G</span> 運用実績上位(グリーン評価) <span style="color: red;">R</span> 改善事項あり(レッド評価)                     ✓ グリーン・レッド評価以外                     — 運用実績未計測			
ファンド名/HPリンク	純資産総額	実績	商品	開示	ファンド名/HPリンク	純資産総額	実績	商品	開示		
307 <a href="#">世界8資産ファンド 安定コース</a> 愛称:世界組曲	30億円	—	✓	✓	327 <a href="#">たわらノーロード バランス(標準型)</a>	272億円	—	✓	✓		
308 <a href="#">世界8資産ファンド 成長コース</a> 愛称:世界組曲	49億円	—	✓	✓	328 <a href="#">投資のソムリエ</a>	3,515億円	✓	✓	✓		
309 <a href="#">世界8資産ファンド 分配コース</a> 愛称:世界組曲	162億円	—	✓	✓	329 <a href="#">投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)</a>	95億円	✓	✓	✓		
310 <a href="#">世界8資産ファンド&lt;DC年金&gt;</a> 愛称:世界組曲<DC年金>	68億円	—	✓	✓	330 <a href="#">投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)</a>	35億円	✓	✓	✓		
311 <a href="#">世界8資産リスク分散バランスファンド(目標払出し型)</a> 愛称:しあわせのしずく	28億円	<span style="color: red;">R</span>	✓	✓	331 <a href="#">投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)</a>	30億円	✓	✓	✓		
312 <a href="#">ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス&lt;為替ヘッジあり&gt;</a>	11億円	✓	✓	✓	332 <a href="#">投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)</a>	17億円	✓	✓	✓		
313 <a href="#">ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス&lt;為替ヘッジなし&gt;</a>	26億円	✓	✓	✓	333 <a href="#">投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)</a>	16億円	✓	✓	✓		
314 <a href="#">たわらノーロード 最適化バランス(安定型)</a>	1億円	✓	✓	✓	334 <a href="#">投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)</a>	10億円	✓	✓	✓		
315 <a href="#">たわらノーロード 最適化バランス(安定成長型)</a>	16億円	✓	✓	✓	335 <a href="#">投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)</a>	2億円	✓	✓	✓		
316 <a href="#">たわらノーロード 最適化バランス(成長型)</a>	2億円	✓	✓	✓	336 <a href="#">投資のソムリエ&lt;DC年金&gt;</a>	413億円	✓	✓	✓		
317 <a href="#">たわらノーロード 最適化バランス(積極型)</a>	4億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓	337 <a href="#">投資のソムリエ&lt;DC年金&gt;リスク抑制型</a>	486億円	✓	✓	✓		
318 <a href="#">たわらノーロード 最適化バランス(保守型)</a>	0.7億円	—	✓	✓	338 <a href="#">動的パッケージファンド&lt;DC年金&gt;</a>	8億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓		
319 <a href="#">たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)</a>	96億円	✓	✓	✓	339 <a href="#">バランス物語30(安定型)</a>	13億円	—	✓	✓		
320 <a href="#">たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)</a>	188億円	✓	✓	✓	340 <a href="#">バランス物語50(安定・成長型)</a>	10億円	—	✓	✓		
321 <a href="#">たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)</a>	119億円	✓	✓	✓	341 <a href="#">バランス物語70(成長型)</a>	6億円	—	✓	✓		
322 <a href="#">たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)</a>	142億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓	342 <a href="#">マネックス資産設計ファンド エボリューション</a>	22億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓		
323 <a href="#">たわらノーロード スマートグローバルバランス(保守型)</a>	3億円	—	✓	✓	343 <a href="#">マネックス資産設計ファンド&lt;育成型&gt;</a>	193億円	✓	✓	✓		
324 <a href="#">たわらノーロード バランス(8資産均等型)</a>	749億円	—	✓	✓	344 <a href="#">マネックス資産設計ファンド&lt;隔月分配型&gt;</a>	5億円	✓	✓	✓		
325 <a href="#">たわらノーロード バランス(堅実型)</a>	59億円	—	✓	✓	345 <a href="#">みらいのサイフ(アドバンスコース)</a>	8億円	—	✓	✓		
326 <a href="#">たわらノーロード バランス(積極型)</a>	269億円	—	✓	✓	346 <a href="#">みらいのサイフ(エントリーコース)</a>	11億円	—	✓	✓		

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

# ファンド評価結果\_バランス、その他

2024/9/30時点

チェック項目	実績	運用実績	商品	商品性	開示	情報開示	ファンド評価結果	<span style="color: green;">G</span> 運用実績上位(グリーン評価) <span style="color: red;">R</span> 改善事項あり(レッド評価)                     ✓ グリーン・レッド評価以外                     — 運用実績未計測			
ファンド名/HPリンク	純資産総額	実績	商品	開示							
347 <a href="#">みらいのサイフ(ベーシックコース)</a>	11億円	—	✓	✓							
348 <a href="#">リスクコントロール世界資産分散ファンド</a> 愛称:マイスタート	467億円	✓	✓	✓							
349 <a href="#">リスク抑制世界8資産バランスファンド</a> 愛称:しあわせの一步	1,364億円	✓	✓	✓							
350 <a href="#">リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)</a> 愛称:しあわせの一步(DC)	4億円	✓	✓	✓							
<b>その他/海外</b>											
351 <a href="#">ドルマネーファンド</a>	51億円	✓	✓	<span style="color: red;">R</span>							
352 <a href="#">バンクローン・ファンド(ヘッジあり)</a>	12億円	✓	✓	✓							
353 <a href="#">バンクローン・ファンド(ヘッジあり/年1回決算型)</a>	1億円	<span style="color: green;">G</span>	✓	✓							
354 <a href="#">バンクローン・ファンド(ヘッジなし)</a>	19億円	✓	✓	✓							
355 <a href="#">バンクローン・ファンド(ヘッジなし/年1回決算型)</a>	2億円	✓	✓	✓							

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



## ファンド評価結果 個別ファンド評価(レッド評価)

### Ⓡ 改善事項あり(レッド評価)のサマリー

#### 評価項目 運用実績

- 運用実績が他社の同一カテゴリーファンドと比較して下位に位置するレッド評価ファンドは合計31ファンド
- 31ファンドの内訳は、株式型8ファンド、債券型4ファンド、REIT型10ファンド、バランス型9ファンド

#### 評価項目 商品性

- 商品性の観点で改善が必要なレッド評価ファンドは合計2ファンド
- 2ファンドの内訳は株式型1ファンド、バランス型1ファンド

#### 評価項目 情報開示

- 情報開示の観点で改善が必要なレッド評価ファンドは合計4ファンド
- 4ファンドの内訳は株式型3ファンド、その他資産1ファンド

#### <ファンド評価結果の個別ページにおけるご留意事項>

- 本資料では、同一シリーズや同一運用戦略に分類されるファンドを「同種ファンド」として扱います。  
(決算頻度や分配方針、為替ヘッジの有無、通貨コースなどに違いがあっても同一の運用戦略にもとづいて運用される場合は、「同種ファンド」とします。)
- 次ページ以降ページ左上のタイトルには、同種ファンド内で一番残高が大きいファンドの名称を記載しています。
- 次ページ以降の「ファンドの概要」において記載する投資対象は、直接投資または、各ファンドが外国籍投信やマザーファンド等を通じて実質的に投資する資産を指します。
- 次ページ以降の各種データは、2024年9月30日時点です。

® 運用実績

# DIAM新興企業日本株ファンド

ファンド名	純資産	HP
DIAM新興企業日本株ファンド	103億円	

## ファンドの概要

- 国内の新興企業株式を主要投資対象とします。
- 国内の優れた経営者のもとで、新しいビジネスモデルと経営戦略から付加価値の高い新商品を生み出す“新興企業”を選定し、トップダウンアプローチも活用して、相場局面を考慮した業種・銘柄選択・投資比率を決定します。

## 運用実績に関する課題認識

- 米国を中心に世界的に長期金利が上昇する市場環境のもと、当ファンドの特色である成長性に着目した新興銘柄や中小型銘柄への投資が大型株対比で不利な局面が続きました。
- このような市場環境において、テクノロジー関連を中心とした高成長が期待された新興企業や中小型銘柄の保有が、相対的なパフォーマンス面での出遅れ要因となりました。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
-11.9%	32.9%	106.3%

(設定日:2013年5月21日)


## 改善に向けた取組み

- 社会課題に挑む経営者や組織、テクノロジーを中心とした企業への投資を通じた運用を継続します。
- 目先の利益の多寡ではなく、長期での企業価値創出力に着眼点を置いた銘柄選別を行い、保有銘柄の精査および新規銘柄への投資を進めます。
- 市場環境の変化有無も踏まえ、銘柄入れ替えを含めた選別投資を進めてきたことでパフォーマンスは改善傾向にあり、今後も半年程度は現在の運用方針を継続する方針です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

® 運用実績

# MHAMキャピタル・グロース・オープン

ファンド名	純資産	HP
MHAMキャピタル・グロース・オープン	23億円	

## ファンドの概要

- 国内株式を主要投資対象とし、ベンチマークである東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) を上回る運用成果を目指します。
- 個別企業調査や産業調査に基づき銘柄を厳選し、上位組入10銘柄で株式組入純資産総額の30～50%程度となる集中投資を行うことを基本とします。海外株式にも投資することがありますが、外貨建て資産は機動的に為替ヘッジを行います。

## 運用実績に関する課題認識

- グロース株に投資を行う当ファンドは、バリュー株優位の市場環境が続くなか劣後しました。
- 銘柄選択が振るいませんでした。特に、保有比率の高い業種としてサービス業、規模として小型での選択がマイナスに影響しました。
- 海外株式への投資は、3年では小幅マイナス要因、5年では大幅プラス寄与となりました。一方、為替ヘッジを高水準で維持したことがマイナスに影響しました。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
-0.4%	53.4%	73.1%

(設定日:1999年10月28日)

## 改善に向けた取組み

- 競争優位性が高い成長企業を新たに取り入れることでファンドの成長分野を広げていきます。
- 日本株は小型株に注力した収益獲得意識を修正し、大・中型株への意識を従来より高めることで分散を図ります。投資環境に応じて、適切な規模や業種のリスクコントロールを行う方針です。
- 海外株は大型株中心の運営を継続します。一方、投資魅力が高まる局面では中小型株も組入れられるよう、銘柄選別を進めます。為替ヘッジ比率はコスト水準なども考慮し引下げも検討します。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

④ 運用実績

# MHAM日本成長株ファンド<DC年金>

(同種ファンド数:4ファンド)

ファンド名	純資産	HP	ファンド名	純資産	HP
MHAM日本成長株ファンド<DC年金>	275億円	■	One日本の成長力α<DC年金>	16億円	■
MHAM日本成長株オープン	106億円	■	きらぼし・みらい応援株式ファンド	13億円	■

## ファンドの概要

- 国内株式を主要投資対象とします。
- 企業の「競争力の優位性」と「利益の成長性」を重視した個別銘柄選定を行います。

## 運用実績に関する課題認識

- 競争優位性に基づいた高成長銘柄に投資するファンド特性のため、グロース株の低迷を受けて劣後しました。
- 小型株の保有比率を高く維持していたことが、マイナス要因になりました。
- なかでも、情報・通信業やサービス業での銘柄選択が振るいませんでした。情報技術やヘルスケアのサービス分野における複数銘柄の株価不振が影響しました。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) MHAM日本成長株ファンド<DC年金>

3年	5年	設定来
-26.5%	6.6%	186.1%

(設定日:2001年11月19日)

## 改善に向けた取り組み

- 銘柄選択では、競争優位性に裏付けられた中長期的な成長性を重視することに加えて、業績動向や割安性についても十分なチェックを行い、選定の精度向上を図ります。
- 既保有銘柄の精査、厳選、新規銘柄への投資を通じて、ファンドに取り入れる成長分野を広げて行きます。また、規模(小型)や業種(特定分野)リスクのバランスも取って行く方針です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

④ 運用実績

# 日本厳選中小型株ファンド

ファンド名	純資産	HP
日本厳選中小型株ファンド	113億円	

## ファンドの概要

- 国内の中小型株式を主要投資対象とします。
- 銘柄選定にあたっては、主として経営戦略やビジネスモデルによって新たな顧客や市場を創造できると考えられる企業に着目し、厳選して投資を行います。

## 運用実績に関する課題認識

- 米国を中心に世界的に長期金利が上昇する市場環境のもと、当ファンドの特色である成長性に着目した中小型銘柄への投資が大型株対比で不利な局面が続きました。
- このような市場環境において、テクノロジー関連を中心とした高成長が期待された中小型銘柄の保有が、相対的なパフォーマンス面での出遅れ要因となりました。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
-8.3%	24.0%	38.3%

(設定日:2016年12月9日)

## 改善に向けた取組み

- 社会課題に挑む経営者や組織、テクノロジーを中心とした企業への投資を通じた運用を継続します。
- 目先の利益の多寡ではなく、長期での企業価値創出力に着眼点を置いた銘柄選別を行い、保有銘柄の精査および新規銘柄への投資を進めます。
- 市場環境の変化有無も踏まえ、銘柄入れ替えを含めた選別投資を進めてきたことでパフォーマンスは改善傾向にあり、今後も半年程度は現在の運用方針を継続する方針です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



® 運用実績

# 未来変革日本株ファンド

ファンド名	純資産	HP
未来変革日本株ファンド	140億円	

## ファンドの概要

- 各種産業において、未来を変革すると考えられるイノベーションの創出やその支援を行うと考えられる国内の企業の株式を主要投資対象とします。
- 銘柄選定にあたっては、急速なビジネスモデルの変革の影響をより直接的に受けると考えられる企業に着目し、高い成長性が期待できる銘柄を中心に投資します。

## 運用実績に関する課題認識

- 米国を中心に世界的に長期金利が上昇する市場環境のもと、当ファンドの特色である成長性に着目した中小型銘柄への投資が大型株対比で不利な局面が続きました。
- このような市場環境において、テクノロジー関連を中心とした高成長が期待された中小型銘柄の保有が、相対的なパフォーマンス面での出遅れ要因となりました。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
-12.0%	30.1%	67.2%

(設定日:2016年1月29日)

## 改善に向けた取組み

- イノベーションの創出に向けて、社会課題に挑む経営者や組織、テクノロジーを中心とした企業への投資を通じた運用を継続します。
- 目先の利益の多寡ではなく、長期での企業価値創出力に着眼点を置いた銘柄選別を行い、保有銘柄の精査および新規銘柄への投資を進めます。
- 市場環境の変化有無も踏まえ、銘柄入れ替えを含めた選別投資を進めてきたことでパフォーマンスは改善傾向にあり、今後も半年程度は現在の運用方針を継続する方針です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

④ 運用実績

# グローバル・ボンド・ポート(Dコース)

(同種ファンド数:4ファンド)

ファンド名	純資産	HP	ファンド名	純資産	HP
グローバル・ボンド・ポート(Dコース)	131億円	■	グローバル・ボンド・ポート 毎月決算コース(為替ヘッジなし)	33億円	■
グローバル・ボンド・ポート(Cコース)	121億円	■	DIAMグローバル・ボンド・ポート 毎月決算コース2	24億円	■

## ファンドの概要

- 世界主要国(除く日本)の公社債へ投資し、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース、為替ヘッジなしまたは為替ヘッジあり)を上回る運用成果を目指します。
- 原則として高格付(A格以上)の債券に投資します。インデックス構成国の国債は、格付基準にかかわらず投資可能とします。
- 外貨建資産については、Cコース以外は原則として為替ヘッジは行いません。

## 運用実績に関する課題認識

- 世界的に金利が上昇(債券価格が下落)する中、ファンドの運用実績はベンチマーク対比で劣後する結果となりました。
- 高インフレと市場金利の上昇(債券価格の下落)が長期化し、為替市場では米ドルの堅調さが続いた中、デュレーション戦略の修正が遅れたこと、米ドル売りを軸とした通貨戦略等が要因となり、運用実績が低迷しました。また、中国国債がベンチマークに加わって安定的な値動きを示したことから、当該国債の非保有戦略がベンチマーク対比で運用実績を低迷させる要因となりました。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) グローバル・ボンド・ポート(Dコース)

3年	5年	設定来
8.3%	14.7%	102.7%

(設定日:1998年12月10日)

## 改善に向けた取り組み

- 以下の観点に注力して運用実績の改善に努めます。
  - ①金融政策や財政政策とファンダメンタルズ分析の深化
  - ②中長期的な投資分析と短期的な投資分析のバランス配慮(戦略の微調整の実施)
  - ③中国の債券への投資拡充
  - ④為替分離運用の精度向上

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

④ 運用実績

# MHAM J-REITアクティブオープン毎月決算コース

(同種ファンド数:2ファンド)

ファンド名	純資産	HP	ファンド名	純資産	HP
MHAM J-REITアクティブオープン毎月決算コース	134億円		MHAM Jリートアクティブファンド(毎月決算型)	129億円	

## ファンドの概要

- 国内REITを主要投資対象とし、ベンチマークである東証REIT指数(配当込み)を上回る投資成果を目指します。
- 不動産市況およびJ-REIT個別銘柄の調査・分析に基づく銘柄選択により、付加価値の獲得を追求します。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) MHAM J-REITアクティブオープン毎月決算コース

3年	5年	設定来
-9.6%	-8.6%	216.3%

(設定日:2004年6月4日)

## 運用実績に関する課題認識

- オフィス銘柄群の保有比率を適切にコントロールできなかったため、競合比較におけるパフォーマンスが劣後しました。
- 具体的には、同保有比率を、新型コロナの悪影響があった時期にやや高め、経済正常化が進む過程で低めにしたことなどがマイナスに影響しました。
- 銘柄選択において、大型オフィス銘柄を中心に、マイナスに影響した銘柄が積み重なったことが劣後要因となりました。

## 改善に向けた取組み

- 配当(分配)及び資産価値の成長性、J-REIT価格の割安性を重視した銘柄選択により、パフォーマンス改善を図ります。
- 不動産市況やマーケット局面の変化を捉え、銘柄及び業種の保有比率などポートフォリオのリスクコントロールを実施する方針です。
- J-REITとの対話を通じたエンゲージメントを強化し、キャッシュフローに着目した独自の調査・分析を深化させることで、セクター及び個別銘柄の魅力度測定やJ-REIT価格の割安性評価の精度向上に努めます。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

④ 運用実績

# 通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型) ブラジルリアルコース

(同種ファンド数:4ファンド)

ファンド名	純資産	HP	ファンド名	純資産	HP
通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型) ブラジルリアルコース	68億円	■	通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型) 円コース	20億円	■
通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型) 米ドルコース	39億円	■	通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型) 豪ドルコース	17億円	■

## ファンドの概要

- 国内REITを主要投資対象とします。
- 国内REITの損益に加え、円コース以外では選択した通貨での為替取引を行うことから得られる為替損益も投資効果として反映されます。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) 通貨選択型リート・ファンド(毎月分配型) ブラジルリアルコース

3年	5年	設定来
46.3%	24.7%	186.5%

(設定日:2011年1月6日)

## 運用実績に関する課題認識

- オフィス銘柄群の保有比率を適切にコントロールできなかったため、競合比較におけるパフォーマンスが劣後しました。
- 具体的には、同保有比率を、新型コロナの悪影響があった時期にやや高め、経済正常化が進む過程で低めにしたことなどがマイナスに影響しました。
- 銘柄選択において、大型オフィス銘柄を中心に、マイナスに影響した銘柄が積み重なったことが、劣後要因となりました。

## 改善に向けた取り組み

- 配当(分配)及び資産価値の成長性、J-REIT価格の割安性を重視した銘柄選択により、パフォーマンス改善を図ります。
- 不動産市況やマーケット局面の変化を捉え、銘柄及び業種の保有比率などポートフォリオのリスクコントロールを実施する方針です。
- J-REITとの対話を通じたエンゲージメントを強化し、キャッシュフローに着目した独自の調査・分析を深化させることで、セクター及び個別銘柄の魅力度測定やJ-REIT価格の割安性評価の精度向上に努めます。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

④ 運用実績

# みずほ J-REIT ファンド

(同種ファンド数:2ファンド)

ファンド名	純資産	HP	ファンド名	純資産	HP
みずほ J-REIT ファンド	288億円	■	みずほ J-REIT ファンド(年1回決算型)	48億円	■

## ファンドの概要

- 国内REITを主要投資対象とします。
- 銘柄選択にあたっては、REIT市場における高度な知識を有する運用チームが豊富な運用経験の中で培った運用基盤を活用し、付加価値の高い運用を目指します。

## 運用実績に関する課題認識

- オフィス銘柄群の保有比率を適切にコントロールできなかったため、競合比較におけるパフォーマンスが劣後しました。
- 具体的には、同保有比率を、新型コロナの悪影響があった時期にやや高め、経済正常化が進む過程で低めにしたことなどがマイナスに影響しました。
- 銘柄選択において、大型オフィス銘柄を中心に、マイナスに影響した銘柄が積み重なったことが劣後要因となりました。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) みずほ J-REIT ファンド

3年	5年	設定来
-9.6%	-9.4%	230.9%

(設定日:2003年12月18日)

## 改善に向けた取り組み


- 配当(分配)の水準・安定性及び資産価値の成長、J-REITの価格水準を重視した銘柄選択により、パフォーマンス改善を図ります。
- 不動産市況やマーケット局面の変化を捉え、銘柄及び業種の保有比率などポートフォリオのリスクコントロールを実施する方針です。
- J-REITとの対話を通じたエンゲージメントを強化し、キャッシュフローに着目した独自の調査・分析を深化させることで、収益・配当予測やJ-REITの価格水準評価の精度向上に努めます。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



④ 運用実績

## りそなJリート・アクティブ・オープン

ファンド名	純資産	HP
りそなJリート・アクティブ・オープン	522億円	

### ファンドの概要

- 国内REITを主要投資対象とします。
- 個別銘柄の調査・分析に基づいて、相対的に高水準の配当金の確保を図りつつ、長期的な値上がり益の獲得を目指します。
- マザーファンドの運用は、りそなアセットマネジメント株式会社より投資助言および情報提供を受けます。

### 運用実績に関する課題認識

- オフィス型、総合型について、業種配分効果や銘柄選択効果がパフォーマンス劣後の要因となりました。配当金に関する施策等に着目して銘柄選択を行いました。経済正常化が進むなか、大型オフィス銘柄の保有比率を低めに維持したことなどがマイナスに影響しました。
- また、都市型商業施設を有する銘柄の保有比率を高めに維持したことなどがパフォーマンス劣後の要因となりました。期待通りインバウンド効果で回復したものの、他銘柄対比でパフォーマンスが振るいませんでした。

### ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
-11.3%	-8.0%	167.9%

(設定日:2010年6月24日)

### 改善に向けた取り組み

- 個別銘柄の調査・分析に基づいて、分配金及び資産価値の成長、J-REIT価格の割安性を重視した銘柄選択を実施します。
- 各J-REITが抱える課題解決に向けた計画の効果や実現可能性を考慮したうえで、ポートフォリオを構築する方針です。
- 業種毎の傾向に加え、銘柄毎における資本政策の方向性やスポンサーのサポート姿勢などを総合的に評価することでパフォーマンス改善を図ります。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

® 運用実績

# 新光 US-REIT オープン

ファンド名	純資産	HP
新光 US-REIT オープン	4,144億円	

## ファンドの概要

- 米国REITを主要投資対象とします。
- 分散投資を行い、市場平均よりも高い水準の配当収益の確保と長期的な値上がり益の獲得を目指します。
- インベスコ・アドバイザーズ・インクに運用の指図をする権限を委託します。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

## 運用実績に関する課題認識

- 市場全体に対してパフォーマンスの低迷が続いたことで、2021年初めに運用プロセスの見直しを行い、サブセクターのアロケーションを機動的に変更し、適切なリスク水準を確保するため、確信度の高い銘柄に絞り込んで運用する仕組みを導入しました。
- しかしながら、2021年および2022年に改善の兆しも見られたものの、2023年以降は米国経済環境および金利見通しの不透明感が強まるなかで、セクターアロケーションが効果を発揮しなかったことや特定の銘柄が上昇トレンドを辿るモメンタム相場となったことから相対バリュエーション(銘柄やセクター対比で割安な銘柄に選別投資する)手法がうまく機能しなかったこと、加えて保有銘柄を30銘柄に絞った集中投資が裏目にでたこと等が、運用実績悪化の要因となりました。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
25.3%	43.9%	250.4%

(設定日:2004年9月30日)

## 改善に向けた取組み

- パフォーマンス改善に向けて運用委託先とは継続的に協議を行ってきましたが、委託先では、2024年8月にREITチームを運用チーム再生に実績のある株式運用グループのCIOの傘下に置き、リサーチ体制の充実を図るなど、運用チーム体制を一新しました。運用手法の主な変更点としては以下の通りです。
  - ①マクロ分析によるセクターアロケーションに依存せず、REIT以外の運用担当者から情報共有を拡大
  - ②ビジネスモメンタム(ビジネスが好調、成長している銘柄)を重視し、個別銘柄のボトムアップ調査を徹底し絶対評価で分析
  - ③特定の銘柄等への偏重をなくして、個別銘柄で過大なリスクを抑制し、リスク分析ツールを活用しリスク管理を徹底
- 当社においては、ファンドのモニタリングを継続して行い牽制機能を発揮しながらパフォーマンスの改善に努めていきます。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

④ 運用実績

# ワールドアセットバランス(リスク抑制コース)

(同種ファンド数:2ファンド)

ファンド名	純資産	HP	ファンド名	純資産	HP
ワールドアセットバランス(リスク抑制コース)	147億円	■	ワールドアセットバランス(基本コース)	50億円	■

## ファンドの概要

- 先進国(除く日本)の株式、債券、REITおよび新興国の株式、債券に分散投資します。
- リスク抑制コースは、基準価額の下落を一定水準に抑えることを目指します。
- 各資産への投資比率の決定にあたってはみずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社(以下、みずほFT)の助言を活用します。
- 外貨建資産に対しては、原則として為替ヘッジを行います。

## 運用実績に関する課題認識

- 統計的手法に基づき決定した基本的投資比率を用いて運用しましたが、インフレ加速・金融引き締め政策で各国の金利が急速に上昇し、ポートフォリオの約4割を占める先進国債券が下落したことや、為替ヘッジに係る部分が運用実績低迷の要因となりました。
- 足元では、海外各国で金利上昇が落ち着いたことで株式市場やREITが上昇したことに加え、為替ヘッジに係る部分も運用実績改善に寄与する結果となりました。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) ワールドアセットバランス(リスク抑制コース)

3年	5年	設定来
-9.1%	-7.8%	-1.8%

(設定日:2017年1月18日)

## 改善に向けた取り組み

- 助言会社であるみずほFTと協議して運用手法の改良を実施しました(収益成長や物価上昇率、為替ヘッジコストなどの外部環境変化を捉えた期待リターン推計手法に変更しました)。
- 2024年12月のリバランスから今回の改良を実運用に反映しております。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

④ 運用実績

# One国際分散投資戦略(目標リスク8%)

(同種ファンド数:6ファンド)

ファンド名	純資産	HP	ファンド名	純資産	HP
One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク8%)	22億円	■	One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク8%)<DC年金>	20億円	■
One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク6%)	5億円	■	One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク6%)<DC年金>	16億円	■
One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク4%)	4億円	■	One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク4%)<DC年金>	6億円	■

## ファンドの概要

- 世界各国の株式、債券、通貨、商品等に分散投資します。また、投資効率の向上・リスクコントロールのため先物、為替予約取引等を活用します。
- 資産の組入比率を調整し、基準価額の変動リスクを一定程度\*に抑えつつ、中長期的に信託報酬控除前で変動リスク水準と同程度のリターンを獲得を目指します。

\*各ファンドの目標リスク水準

## 運用実績に関する課題認識

- インフレ加速・金融引き締め政策で各国の金利が急速に上昇し、先進国債券が運用実績不振の要因となったことに加え、株式部分の運用実績も振るわず、2022年度のファンドの運用実績は大きく低迷しました。
- 2023年度以降は株式を中心としたリスク性資産の価格が上昇したことで運用実績が一時改善しました。足元では、株式を中心としたリスク性資産の価格が上昇する環境が継続しており、分散を追求したポートフォリオ構築がリターンを抑制する要因となったため、他社の同種ファンド対比で運用実績が劣後しました。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) One国際分散投資戦略ファンド(目標リスク8%)

3年	5年	設定来
-17.3%	-	-29.8%

(設定日:2019年11月29日)

## 改善に向けた取り組み

- 各資産への投資割合を決定する月次戦略では、市場環境・マクロ環境の変化に対して頑健性を強化し、より安定して収益を獲得できるよう運用戦略への改良に着手しています。2023年11月および2024年4月にモデル改良を実施しました。改良導入以降、改良前対比リスク性資産のウェイトが高く、株式等リスク性資産の上昇により、リターンにおいてプラス効果となっています。
- 分散投資の効率を向上させるため、2025年2月にトータルリターンスワップを活用したコモディティ投資(商品投資)を再開しました。

® 運用実績

## 世界8資産リスク分散バランスファンド(目標払出し型)

ファンド名	純資産	HP
世界8資産リスク分散バランスファンド(目標払出し型)	28億円	

### ファンドの概要

- 世界各国の株式、債券、REITの8つの資産に分散投資します。
- 基準価額の変動リスクを年率4%程度に抑えつつ、安定的な収益の獲得を目指します。
- 外貨建資産の一部について、為替ヘッジを行う場合があります。

### 運用実績に関する課題認識

- インフレ加速・金融引き締め政策で各国の金利が急速に上昇したことで先進国債券部分の運用実績が振るわず、株式市場が下落したことも要因となり、2022年度のファンドの運用実績は大きく低迷しました。
- 2023年度以降は、株式を中心としたリスク性資産の価格が上昇したことで運用実績が一時改善しました。なお、2024年度も引き続き株式などのリスク性資産の価格が上昇基調で推移するなか、基準価額の安定性(リスク抑制)を重視する当ファンドは、他社の同種ファンドと比較して運用実績が劣後する状況が継続しました。

### ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
-11.9%	-	-6.1%

(設定日:2020年3月27日)

### 改善に向けた取組み


- 各資産への基本的投資割合を決定する月次戦略では、市場環境や経済環境の変化に対しての頑健性を強化し、より安定して収益を獲得できる戦略への改良に着手しています。2023年11月および2024年4月に運用モデル改良を実施しました。
- 機動的に各資産の投資を実行する日次戦略では、株式等のリスク資産に関するシグナルの改良を実施しました。リスク資産のウェイト調整を精緻に行うことで運用実績の維持・安定効果を維持しつつ、市場の上昇を取り逃さないことを目指します。
- 改良導入以降、月次戦略では改良前対比リスク性資産のウェイトが高く、株式等リスク性資産の上昇により、リターンにおいてプラス効果となっています。日次戦略では2024年8月上旬の株式下落時の点灯が従前対比遅れたことなどが要因となりマイナス効果となっています。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



## ® 商品性

# One ターゲットリターン・ファンド(4%コース)

ファンド名	純資産	HP
One ターゲットリターン・ファンド(4%コース)	10億円	

## ファンドの概要

- 世界各国の株式、債券、REIT、コモディティ、ETFなどに分散投資します。
- 分散投資を通じて、中長期的な目標リターン年率4% (信託報酬等控除後)を目指します。
- 投資信託証券への投資配分については、均等配分を原則とします。
- 外貨建資産の一部について、為替ヘッジを行う場合があります。

## 商品性に関する課題認識

- 市場環境が変化し、ポートフォリオが債券を主とした運用であることや、為替ヘッジコストが上昇したこと等から、中長期的な目標リターンである年率4%の達成には投資対象ファンドの入替えが必要と考えます。
- 資産運用規模が大きくないため1ファンド当たりの投資額が2億円と小規模のため、各投資対象ファンドの運用戦略の維持が困難な状態です。

## 商品性におけるチェックポイント

- 中長期的な目標である年率4% (信託報酬等控除後)のリターンの達成に向けて、投資対象である投資信託証券(ファンド)の入替えを検討する必要性に鑑み、「品質」の観点からレッド評価としています。

## 改善に向けた取り組み

- 投資対象である5つの投資信託証券(ファンド)について、ファンドの入替え、投資対象の厳選による1ファンドあたりの投資額の拡大などの対応策を検討します(当ファンドはファンド・オブ・ファンズのため、投資対象となるファンドの変更に当たっては目論見書および投資信託約款の変更を実施した上で行います)。

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

## ® 商品性

# グローバル新世代関連株式ファンド

ファンド名	純資産	HP
グローバル新世代関連株式ファンド	111億円	■

## ファンドの概要

- 国内外の株式を投資対象とし、ミレニアルズ\*投資テーマの関連市場の成長の恩恵を受ける企業のうち、競争優位性およびその持続可能性、経営陣の質の評価に基づき選定した質の高い銘柄群のなかから、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を中心に投資を行います。

\*1980年～90年代生まれた世代を指す造語

- 株式などの運用指図に係る権限をゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピーに委託します。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

## 商品性に関する課題認識

- 当ファンドは、ミレニアルズに関連した市場に関連する企業への投資を通じて信託財産の成長を目指していますが、時代の進展に伴い、「グローバル新世代」の中心的存在がミレニアルズ世代から次世代へ移りつつあるため、「ミレニアルズ」という文言の修正が必要と考えます。
- なお、長期投資のテーマとして、その時々々の若者世代あるいは新世代に着目した投資自体には普遍性があると考えます。

## 商品性におけるチェックポイント

- 投資テーマとして掲げている「ミレニアルズ」という文言について、ファンドが着目するテーマへの投資を長期にわたり行うために変更する必要があると判断し、「品質」の観点からレッド評価としています。

## 改善に向けた取り組み

- 目論見書や投資信託約款(運用の基本方針)等にある「ミレニアルズ」という文言を、「新世代」という文言に変更します。これにより、ミレニアルズに限定せず、長期的視点で「就労して収入増加を経験する“新世代”」に着目した投資を継続する方針とします(なお、この文言変更に伴って投資対象やポートフォリオの構築手法が変更となるものではありません)。
- 投資テーマの継続性や文言の適切性については随時チェックを行い、ファンド品質の維持・継続性・一貫性を確認します。

※上記の改善に向けた取り組みについては対応を完了しています。

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

Ⓜ 情報開示

## ドルマネーファンド/DIAM成長株オープン/DL日本株式オープン/One高配当利回り厳選ジャパン

ファンド名	純資産	HP
ドルマネーファンド	51億円	■

ファンド名	純資産	HP
DIAM成長株オープン	47億円	■
DL日本株式オープン	12億円	■

### 情報開示に関する課題認識

- 月次レポートにおいて、ファンドの運用状況やマーケットの見通し等のコメントがありませんでした。

### 改善に向けた取組み

- ファンドの運用状況やマーケットの見通し等のコメントを追加します。
- ファンドの運用状況やマーケット見通し等を、分かりやすさに留意してコメントを記載し、積極的な情報開示に努めます。

ファンド名	純資産	HP
One高配当利回り厳選ジャパン	81億円	■

### 情報開示に関する課題認識

- 当ファンドは配当利回りに着目して運用するファンドですが、月次レポートにはポートフォリオの配当利回りが開示されていませんでした。

### 改善に向けた取組み

- 月次レポートにポートフォリオの配当利回りの情報を開示します。
- ファンドの特性や運用状況をご理解いただく上で有用な情報については、開示内容を充実させるなど、適切かつタイムリーな情報提供に取り組めます。

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

## ファンド評価結果 個別ファンド評価(グリーン評価)

### ① 運用実績上位(グリーン評価)のサマリー

#### 評価項目 運用実績

- 運用実績が他社の同一カテゴリーファンドと比較して上位に位置するグリーン評価のファンドは合計31ファンド
- 31ファンドの内訳は、株式型11ファンド、債券型4ファンド、バランス型15ファンド、その他1ファンド

#### <ファンド評価結果の個別ページにおけるご留意事項>

- 本資料では、同一シリーズや同一運用戦略に分類されるファンドを「同種ファンド」として扱います。  
(決算頻度や分配方針、為替ヘッジの有無、通貨コースなどに違いがあっても同一の運用戦略にもとづいて運用される場合は、「同種ファンド」とします。)
- 次ページ以降ページ左上のタイトルには、同種ファンド内で一番残高が大きいファンドの名称を記載しています。
- 次ページ以降の「ファンドの概要」において記載する投資対象は、直接投資または、各ファンドが外国籍投信やマザーファンド等を通じて実質的に投資する資産を指します。
- 次ページ以降の各種データは、2024年9月30日時点です。

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

◎ 運用実績

# IBJITMジャパン・セレクション

(同種ファンド数:2ファンド)

ファンド名	純資産	HP
IBJITMジャパン・セレクション	55億円	■
DIAMジャパン・セレクション<DC年金>	40億円	■

## ファンドの概要

- 国内株式を主要投資対象とします。
- 大局観や相場局面判断を重視し、個別銘柄の調査・分析に基づき成長性とバリュー面等を勘案して投資銘柄を選定します。

## 運用実績向上への取組み・着眼点

- 金融政策正常化、持ち合い株式の縮小、半導体関連等のテーマを捉え、企業の成長性と株価の割安感を考慮した銘柄選定が良好な実績につながりました。今後も機動的なトップダウン判断とリサーチ力を活かした投資を継続してまいります。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) IBJITMジャパン・セレクション

3年	5年	設定来
48.4%	113.3%	552.0%

(設定日:1998年9月18日)



◎ 運用実績

# MHAMジャパンオープン

ファンド名	純資産	HP
MHAMジャパンオープン	25億円	■

## ファンドの概要

- 国内株式を主要投資対象として、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX) (配当込み)を上回る運用成果を目指します。
- 個別企業調査や産業調査に基づき個別企業の投資価値判断を行い、中・長期的に投資魅力が高いと判断される銘柄を選定します。

## 運用実績向上への取組み・着眼点

- 利益成長性および株価バリュエーション等の徹底した個別銘柄分析に基づいた投資が良好な実績につながりました。長期的に株主価値の増加が見込める銘柄の探索を続けることで、今後も一層のパフォーマンス向上に取り組んでまいります。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
43.7%	104.1%	225.2%

(設定日:1999年4月27日)



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)なお基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



③ 運用実績

# One高配当利回り厳選ジャパン

ファンド名	純資産	HP
One高配当利回り厳選ジャパン	81億円	■

## ファンドの概要

- 国内株式を主要投資対象とします。
- 銘柄選定にあたっては、「配当利回り」と「長期にわたる配当の持続性・成長性」に着目し、20~40銘柄程度に厳選投資します。

## 運用実績向上への取組み・着眼点

- 配当利回り水準や配当の持続性などに着目した銘柄選択が、2020年3月以降の株価上昇が続く局面においてパフォーマンスを牽引しました。今後も、配当に基づく投資魅力度が高い銘柄への集中投資によって、良好なリターンにつなげてまいります。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
64.1%	-	97.0%

(設定日:2019年11月13日)



③ 運用実績

# One割安日本株ファンド

(同種ファンド数:2ファンド)

ファンド名	純資産	HP
One割安日本株ファンド	254億円	■
One割安日本株ファンド(年1回決算型)	113億円	■

## ファンドの概要

- 国内の割安な株式を投資対象とします。
- 運用にあたっては、株価のバリュエーションに着目しつつ、それぞれの企業のファンダメンタルズ等も勘案し、相対的に高い配当収入と値上がり益の獲得を目指します。

## 運用実績向上への取組み・着眼点

- 株価指標は割安であるものの、株価上昇のきっかけとなる要因のある銘柄に調査・投資を行いました。具体的に、市場拡大が見込まれる半導体関連銘柄、金融政策正常化の恩恵を受けやすい金融関連、需要増と人手不足から採算改善が見込まれる建設関連への投資が奏功しました。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) One割安日本株ファンド

3年	5年	設定来
62.7%	132.4%	400.4%

(設定日:2012年2月23日)



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)なお基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

◎ 運用実績

## 新光日本インカム株式ファンド(3ヵ月決算型)

ファンド名	純資産	HP
新光日本インカム株式ファンド(3ヵ月決算型)	804億円	■

### ファンドの概要

- 国内株式を主要投資対象とします。
- 銘柄選定にあたっては、予想配当利回り、配当性向および信用リスクなどの基準を用いて候補銘柄を抽出したのち、業績動向、株価指標ならびに流動性などを総合的に勘案し、安定した配当等収益の確保を目指します。

### 運用実績向上への取組み・着眼点

- 分析時点での配当利回りに加え、配当金を長期にわたり増やすことができるかを重視して選別投資したことが良好な実績につながりました。当社の充実したリサーチ体制を活用して、一層のパフォーマンス向上に取り組んでまいります。

### ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
74.4%	117.4%	254.7%

(設定日:2005年7月29日)



◎ 運用実績

## AI(人工知能)活用型世界株ファンド

ファンド名	純資産	HP
AI(人工知能)活用型世界株ファンド	349億円	■

### ファンドの概要

- 世界各国(除く日本)の株式を主要投資対象とします。
- 当社が独自に開発したディープラーニングモデルを用いて、相対的に投資魅力度が高いと判断される銘柄を抽出し、モデルの解析結果に、ファンドマネジャーの判断によりニュースフロー等のテキスト解析や個別企業のファンダメンタルズ分析を融合させ、ポートフォリオを構築します。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

### 運用実績向上への取組み・着眼点

- 当社開発のディープラーニングモデルによる銘柄選択がソフトウェア・サービス・セクターおよびメディア・エンターテインメント・セクターを中心に効果を発揮したことを受けて、ファンドパフォーマンスは好調に推移しました。

### ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
58.2%	138.6%	129.5%

(設定日:2017年9月29日)



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)なお基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

◎ 運用実績

## 米国インフラ関連株式ファンド<為替ヘッジなし>

ファンド名	純資産	HP
米国インフラ関連株式ファンド<為替ヘッジなし>	152億円	■

### ファンドの概要

- 米国の生活インフラ関連企業の株式を主要投資対象とします。
- 投資環境に応じて、「インフラ運営関連企業」と「インフラ開発関連企業」の実質投資割合を機動的に変更します。

### 運用実績向上への取組み・着眼点

- 2021年のインフラ投資・雇用法をはじめ、米国でインフラ投資拡大を後押しする政策が成立する中、恩恵をダイレクトに享受出来る銘柄に厳選して投資をしていたことが、良好なパフォーマンスの獲得に繋がりました。

### ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
75.8%	177.9%	207.3%

(設定日:2017年2月17日)



◎ 運用実績

## グローバル・セキュリティ株式ファンド(3ヵ月決算型)

(同種ファンド数:2ファンド)

ファンド名	純資産	HP
グローバル・セキュリティ株式ファンド(3ヵ月決算型)	558億円	■
グローバル・セキュリティ株式ファンド(年1回決算型)	16億円	■

### ファンドの概要

- 世界各国のセキュリティ関連企業\*の株式を主要投資対象とします。
- 運用にあたっては、UBSアセット・マネジメント・スイス・エイ・ジーの投資助言を活用します。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。  
\* 日常生活に不可欠な「情報・身体・移動等の安全」を支える製品・サービスを提供する企業

### 運用実績向上への取組み・着眼点

- 投資助言元のUBSアセット・マネジメント・スイス・エイ・ジーが、スイス連邦工科大学と連携して最新技術を深く分析し、投資先を選定している点が当ファンドならではの強みと考えます。セキュリティは普遍的なテーマで、今後も関連企業の技術進歩や収益向上が期待できます。

### ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) グローバル・セキュリティ株式ファンド(3ヵ月決算型)

3年	5年	設定来
42.6%	121.9%	213.2%

(設定日:2015年12月18日)



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)なお基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。  
※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

③ 運用実績

## MHAM USインカムオープン毎月決算コース(為替ヘッジなし)

(同種ファンド数:2ファンド)

ファンド名	純資産	HP
MHAM USインカムオープン毎月決算コース(為替ヘッジなし)	41億円	■
MHAM USインカムオープンBコース(為替ヘッジなし)	14億円	■

### ファンドの概要

- 米国債券を主要投資対象とし、当該市場3セクター(高格付け債・株式関連債・ハイイールド債)に分散投資します。
- 様々な景気・金利局面により、それぞれ異なる動きをする3つのセクターを効果的に組み合わせ、安定的な収益の確保を目指します。
- マザーファンドの運用は、ロード・アベット社が行います。

### 運用実績向上への取組み・着眼点

- 高格付け債・株式関連債・ハイイールド債を基本配分に沿ってバランスよく運用したことが功を奏しました。

### ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) MHAM USインカムオープン毎月決算コース(為替ヘッジなし)

3年	5年	設定来
22.0%	59.4%	261.7%

(設定日:2001年12月3日)



③ 運用実績

## フロンティア・ワールド・インカム・ファンド

(同種ファンド数:2ファンド)

ファンド名	純資産	HP
フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	151億円	■
フロンティア・ワールド・インカム・ファンド(年1回決算型)	6億円	■

### ファンドの概要

- 新興国の政府または政府機関などが発行する債券を主要投資対象とします。
- 投資にあたっては、フランクリン テンプルトン インベストメントマネジメントリミテッドから投資助言および情報提供を受けます。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

### 運用実績向上への取組み・着眼点

- 厳選された新興国ユニバースを3つのカテゴリーに分類し、投資上限を規定し運用している点  
が特徴です。先進国通貨・現地通貨のいずれでも投資可能であるため、投資環境に対応した収益を得ることが可能です。

### ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) フロンティア・ワールド・インカム・ファンド

3年	5年	設定来
32.7%	47.3%	170.7%

(設定日:2006年3月31日)



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)(\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)なお基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

◎ 運用実績

## USストラテジック・インカム・ファンドBコース(為替ヘッジなし)

ファンド名	純資産	HP
USストラテジック・インカム・ファンドBコース(為替ヘッジなし)	82億円	■

### ファンドの概要

- 米国債券(米ドル建て)を主要投資対象とします。
- 各種債券(米国の国債、政府機関債、モーゲージ債、投資適格社債、ハイイールド債等)の投資比率を機動的に変更します。
- ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーが実質的な運用を行います。

### 運用実績向上への取組み・着眼点

- ブルームバーグ・米国総合インデックスの情報をもとに、投資適格社債、証券化商品、ハイイールド債を中心としたクレジット戦略に注力しています。

### ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
21.0%	35.4%	73.3%

(設定日:2013年3月8日)



◎ 運用実績

## インカムビルダー(年1回決算型)為替ヘッジなし

(同種ファンド数:4ファンド)

ファンド名	純資産	HP
インカムビルダー(年1回決算型)為替ヘッジなし	35億円	■
インカムビルダー(毎月決算型)為替ヘッジなし	33億円	■
インカムビルダー(毎月決算型)世界通貨分散コース	23億円	■
インカムビルダー(年1回決算型)世界通貨分散コース	8億円	■

### ファンドの概要

- 世界各国の債券・株式等を主要投資対象とします。
- インカム(利子・配当)を重視しながら、投資環境に応じて機動的に資産配分を変更します。
- ルーミス・セイレス社が実質的な運用を行います。
- 世界通貨分散コースは世界の10通貨に対し為替取引を活用します。

### 運用実績向上への取組み・着眼点

- 世界各国の様々な種類の債券・株式等に分散投資を行いインカムを重視した運用手法が、マーケットと合致しました。

### ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) インカムビルダー(年1回決算型)為替ヘッジなし

3年	5年	設定来
25.0%	42.2%	71.9%

(設定日:2013年12月18日)



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)(\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)なお基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



③ 運用実績

グローバル・アロケーション・オープンBコース(年4回決算・為替ヘッジなし)

(同種ファンド数:3ファンド)

ファンド名	純資産	HP
グローバル・アロケーション・オープンBコース(年4回決算・為替ヘッジなし)	575億円	■
グローバル・アロケーション・ファンド 毎月決算・為替ヘッジなしコース(目標払出し型)	202億円	■
グローバル・アロケーション・オープンAコース(年1回決算・為替ヘッジなし)	142億円	■

ファンドの概要

- 世界各国のさまざまな資産への分散投資と為替取引を行います。
- 目標払出し型以外は、外国籍投資信託の投資にかかる指図権限を、ブラックロック・ジャパン株式会社に委託します。
- 目標払出し型は、外国籍投資信託の運用成果を反映する指数連動債に投資します。

運用実績向上への取組み・着眼点

- ブラックロック・ジャパン株式会社の世界規模の運用リソース、テクノロジー、リスク管理および売買執行能力を最大限に活用し、グローバル株式よりもリスクの低減を図りながら、競争力のあるリターンを提供を目指しています。今後はより銘柄数を厳選することで更なるアルファ創出機会を検討中です。

ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) グローバル・アロケーション・オープンBコース(年4回決算・為替ヘッジなし)

3年	5年	設定来
33.9%	80.7%	132.6%

(設定日:2013年10月21日)



③ 運用実績

グローバルドライブ(3ヵ月決算型)為替ヘッジなし

(同種ファンド数:2ファンド)

ファンド名	純資産	HP
グローバルドライブ(3ヵ月決算型)為替ヘッジなし	39億円	■
グローバルドライブ(年1回決算型)為替ヘッジなし	22億円	■

ファンドの概要

- 世界各国のさまざまな資産へ分散投資をします。補助的な位置付けとして、短期米ドル建債券にも投資をします。
- マザーファンドが投資する外国籍投資信託の投資にかかる指図権限を、ブラックロック・ジャパン株式会社に委託します。

運用実績向上への取組み・着眼点

- ブラックロック・ジャパン株式会社の世界規模の運用リソース、テクノロジー、リスク管理および売買執行能力を最大限に活用し、グローバル株式よりもリスクの低減を図りながら、競争力のあるリターンを提供を目指しています。今後はより銘柄数を厳選することで更なるアルファ創出機会を検討中です。

ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) グローバルドライブ(3ヵ月決算型)為替ヘッジなし

3年	5年	設定来
33.1%	79.4%	114.5%

(設定日:2014年2月24日)



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)なお基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

③ 運用実績

# コア資産形成ファンド

(同種ファンド数:2ファンド)

ファンド名	純資産	HP
コア資産形成ファンド	4億円	■
動的パッケージファンド<DC年金>	8億円	■

## ファンドの概要

- 世界各国の債券・株式へ分散投資します。
- 資産配分比率は、リスク均等配分を基本としつつ、投資環境分析による各資産の魅力度判定に応じて機動的な変更を行い、基準価額の変動を抑制することをめざします。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

## 運用実績向上への取組み・着眼点

- リスク均等配分を基本とした分散投資や、定量的なモデルによる経済・市場環境分析に基づく機動的な資産配分変更が有効に機能したことが、良好な実績につながりました。当社の定量的モデルのリーサーチ力を活用し、運用モデルとパフォーマンスの一層の向上に取り組んでまいります。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

(代表ファンド) コア資産形成ファンド

3年	5年	設定来
4.1%	5.6%	8.6%

(設定日:2015年4月20日)



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)なお基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

③ 運用実績

# たわらノーロード 最適化バランス(積極型)

ファンド名	純資産	HP
たわらノーロード 最適化バランス(積極型)	4億円	■

## ファンドの概要

- 世界各国の株式・債券・REITへ分散投資します。
- 目標とするリスク水準(標準偏差)を約13%程度に設定して運用を行います。
- 各資産への投資比率の決定にあたっては、みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社(以下、みずほFT)から投資助言を受けます。
- 外貨建資産の一部について、為替ヘッジを行います。

## 運用実績向上への取組み・着眼点

- リスク性資産と外貨建資産の比率が高いファンドであり、リスク性資産が上昇し為替市場で円安が進む投資環境下で、そのメリットを存分に享受しました。みずほFTの助言をもとに年2回資産配分を見直すことで、投資環境の変化に応じた投資成果を目指してまいります。

## ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
27.8%	54.7%	64.7%

(設定日:2018年1月24日)



◎ 運用実績

## たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)

ファンド名	純資産	HP
たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)	142億円	■

### ファンドの概要

- 世界各国の株式・債券・REITへ分散投資します。
- 資産別の投資比率は、客観的に入手しうるデータに基づき算出して、年2回見直しを行います。投資比率の決定にあたっては、みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社(以下、みずほFT)から投資助言を受けます。
- 外貨建資産の一部について、対円での為替ヘッジを行います。

### 運用実績向上への取組み・着眼点

- リスク性資産と外貨建資産の比率が高いファンドであり、リスク性資産が上昇し為替市場で円安が進む投資環境下で、そのメリットを十分に享受しました。みずほFTの助言をもとに年2回資産配分を見直すことで、投資環境の変化に応じた投資成果を目指してまいります。

### ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
28.3%	63.4%	78.0%

(設定日:2017年11月24日)



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)なお基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

◎ 運用実績

## マネックス資産設計ファンド エボリューション

ファンド名	純資産	HP
マネックス資産設計ファンド エボリューション	22億円	■

### ファンドの概要

- 世界各国の株式・債券・REITへ分散投資します。
- 基本ポートフォリオの推定リスク水準は原則として日本株投資\*と同程度としつつも、世界の複数資産へ高度な分散投資を行うことにより、効率の良い運用を目指します。  
\*過去30年間(1993年~2023年)の日経平均株価の標準偏差は概ね年率20%程度です。
- 基本ポートフォリオの資産配分比率の決定にあたっては、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンの投資助言を受けます。
- 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

### 運用実績向上への取組み・着眼点

- リスク性資産と外貨建資産の比率が高いファンドであり、リスク性資産が上昇し為替市場で円安が進む投資環境下で、そのメリットを十分に享受しました。イボットソン・アソシエイツ・ジャパンの助言をもとに年1回資産配分を見直すことで、投資環境の変化に応じた投資成果を目指してまいります。

### ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
41.4%	91.0%	297.5%

(設定日:2010年5月28日)



◎ 運用実績

## バンクローン・ファンド(ヘッジあり/年1回決算型)

ファンド名	純資産	HP
バンクローン・ファンド(ヘッジあり/年1回決算型)	1億円	■

### ファンドの概要

- 米国企業向けバンクローン(貸付債権)を主要投資対象とします。
- イートン・バンス・マネジメントが実質的な運用を行います。

### 運用実績向上への取組み・着眼点

- 実質的な運用を行うイートン・バンス社が業界最古参・最大手の一翼として築き上げた、バンクローンを持続的にソーシングする力や、業界最大規模のローン専門チームによるリサーチ力が、400銘柄前後の徹底した分散投資を可能にしています。

### ファンドの分配金再投資基準価額騰落率

3年	5年	設定来
0.1%	2.6%	8.1%

(設定日:2013年9月30日)



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。分配金再投資基準価額=前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額) (\*決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)なお基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。  
 ※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等の詳細については上記リンクより当社ホームページにアクセスの上各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等にてご確認ください。  
 ※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載どおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

## 用語集

<b>エンゲージメント</b>	投資先企業との対話を通じて経営の改善を促し、企業の持続的な成長と企業価値の向上を図る活動を指します。
<b>グロース株 (グロース型投資)</b>	グロースとはgrowth(成長性)を指します。将来高い成長性が見込める銘柄を一般にグロース銘柄/グロース株(成長銘柄/成長株)と呼び、こうした銘柄に投資する運用をグロース型投資といいます。
<b>デュレーション</b>	金利の動きに対する債券価格の感応度。金利がある一定の割合で変動した場合、債券の価格がどの程度変化するかを示す指標のことで、この数値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。
<b>トップダウン アプローチ</b>	ファンドのポートフォリオ構築・運用手法のひとつ。各国の景気サイクルなどのマクロ経済予測などをもとに資産配分、業種配分を決め、銘柄選択を行うポートフォリオ構築手法をいいます。
<b>ハイイールド債券</b>	信用格付けが相対的に低い高利回り債券のことをいいます。格付け会社による格付けがBB以下の債券で、信用度が低い分、高い利回りで取引されます。
<b>バリュエーション</b>	企業の利益・資産等、本来の企業価値と照らし合わせ、株価の割安・割高を判断するための指標です。代表的なものに、PER(株価収益率)やPBR(株価純資産倍率)、PCFR(株価キャッシュフロー倍率)などがあります。
<b>バリュー株 (バリュー型投資)</b>	バリューとはvalue(価値)のこと。PER(株価収益率)やPBR(株価純資産倍率)などのバリュエーション指標を用いて投資価値を判断し、割安と判断される銘柄を一般にバリュー銘柄/バリュー株と呼び、こうした銘柄に投資する運用をバリュー型投資といいます。
<b>標準偏差</b>	リスクの度合いを示す指標のひとつです。標準偏差は、ある期間<例えば過去5年間>におけるファンドの平均投資収益率(年率換算値)に対し、同じ期間内の各データ<例えば月次の平均投資収益率(年率換算値)>がどれくらいブレているか(平均値から離れているか)を示すものです。この数値が大きいほど、収益のバラツキ(=基準価額のブレ幅=リスク)が大きいこととなります。標準偏差のリスクを「変動リスク」ともいいます。
<b>ファンダメンタルズ分析</b>	マクロ経済、産業動向、個別企業などの経済的基礎要因を基に行う分析です。
<b>リスク</b>	投資におけるリスクとは「将来の収益の不確実性」を指します。予想される収益のブレが大きいものほどリスクが大きく、収益のブレが小さいものほどリスクが小さいといえます。有価証券の価格変動(収益のブレ)の大きいものをハイリスク、小さいものをローリスクといえます。
<b>リバランス</b>	複数の資産に投資するポートフォリオ運用において、相場変動によって変化した資産の配分を再調整することをリバランスといいます。

※巻末記載のご留意事項等を必ずお読みください。

※資金動向、市況動向等によっては、本資料に記載とおりの運用ができない場合があります。また、本資料の掲載データ等は過去の情報であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



## ご留意事項等

- 本資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- お申込に際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 各ファンドは、株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 本資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は
  1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
  2. 購入金額については元本保証及び利回り保証のいずれもありません。
  3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

### <指数の著作権等>

- 東証株価指数および東証REIT指数の指数値および東証株価指数および東証REIT指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数および東証REIT指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数および東証REIT指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、東証株価指数および東証REIT指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
- JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイドに関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。
- MSCI World IndexはMSCI Inc.に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- Morningstar®LSTA®米国レバレッジド・ローン指数SMは、Morningstar, Inc.(以下「Morningstar」と言います。)の製品であり、これを使用する許諾がアセットマネジメントOne株式会社(以下、「アセットマネジメントOne」)に付与されています。Morningstar®はMorningstarの登録商標であり、アセットマネジメントOneに特定の使用が許諾されています。Loan Syndications and Trading Association®およびLSTA®は、LSTAの商標であり、Morningstarに特定の使用が許諾されており、さらにMorningstarによってアセットマネジメントOneに特定の使用が再許諾されています。当ファンドは、Morningstarおよび/またはそれぞれの関連会社(以下、「Morningstarグループ」と言います)またはLSTAが組成、推薦、販売または販売促進するものではありません。MorningstarグループまたはLSTAは、当ファンドに投資することの当否についていかなる表明も行わず、また、Morningstar®LSTA®米国レバレッジド・ローン指数SMの誤謬、脱漏、または中断に対して一切の責任を負いません。

### <データの著作権等>

- ©2025 Morningstar. All Rights Reserved. 本資料に含まれる情報は、(1)Morningstarおよび/またはそのコンテンツ提供者の専有財産であり、(2)複製または配布は禁止されており、また(3)正確性、完全性及び適時性のいずれも保証するものではなく、また(4)投資、税務、法務あるいはその他を問わず、いかなる助言を構成するものではありません。アセットマネジメントOne株式会社は、この情報の使用が、適用されるすべての法律、規制、および制限に準拠していることを確認する責任を単独で負います。Morningstarおよびそのコンテンツ提供者は、この情報の使用により生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。



アセットマネジメントOne